

SiteMinder

ポリシー サーバリリース ノート

12.52 SP1



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルでは、以下の CA Technologies 製品に言及しています。

- CA DataMinder™
- CA IdentityMinder (旧 Identity Manager)
- CA Single Sign-On
- SiteMinder
- eTrust SOA Security Manager (旧 CA SOA Security Manager)

CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 新機能	15
SiteMinder データ ストアとしての PostgreSQL.....	15
<stmdnr> データ ストアとしての Oracle Database 12c.....	15
ポリシー サーバによる 2 つのマルチバイト データベースのサポート.....	15
第 2 章: 既存機能の変更点	17
ポリシー サーバによる CABI の新バージョンのサポート.....	17
CAPKI のアップグレード.....	17
第 3 章: インストールとアップグレードに関する考慮事項	19
オペレーティング システムのサポート.....	19
セッション リンカのバージョン.....	19
アップグレード情報ページ.....	19
システム ロケールは、インストールおよび設定ディレクトリの言語と一致する必要がある.....	20
SiteMinder インストーラの多言語バージョンをサポートするために必要なローカル フォントおよびパッケージ.....	20
Solaris 上の Java 仮想マシン インストール エラーは無視可能 (149886).....	20
管理 UI および Internet Explorer 9 (149209).....	21
インストール メディア名.....	21
パスワード ポリシー メッセージおよび Active Directory.....	23
カスタマイズされたパスワード変更メッセージ.....	24
証明書廃棄リスト (CRL) の発行者.....	24
廃止された SiteMinder キー ツール オプション.....	25
ポリシー ストアのアップグレード.....	26
12.5 GA および 12.5 CR1 のポリシー サーバアップグレード要件.....	26
r6.x から r12.x にアップグレードする際の考慮事項.....	27
SSL を使った既存の LDAP ユーザ ディレクトリ接続に関する考慮事項.....	27
ローカライズ版のインストールに関する考慮事項.....	29
ETPKI ライブラリのインストール.....	29
連結されたポリシー サーバと Web エージェントのアップグレード.....	30
カスタマイズされたファイルの変更.....	30
UNIX 上の PS と SQL Server 間の接続.....	32
インストールでのパスワードの文字制限 (72360).....	32

分散 CA ディレクトリ サーバ ポリシー ストア	33
イベント ハンドラ ライブラリのインポート	33
MDAC バージョン	34
マルチマスタの LDAP ポリシー ストア	34
マルチマスタの LDAP ユーザ ストア サポート制限 (53677)	35
その他の製品との互換性	35
snmptrap ファイルの更新	35
Windows 考慮事項	36
ポリシー サーバ インストール時の DEP のエラー	36
Windows Server 2008 システムの考慮事項	37
SiteMinder コンポーネントの展開	38
Solaris に関する考慮事項	38
Solaris 10 のサポート	39
gethostbyname() エラーに起因する SMPS ログ内のエラー (54190)	39
Solaris ポリシー サーバのアップグレード (57935)	39
レポートのサーバの必須パッチ クラスタ	40
Red Hat Enterprise Linux AS および ES に関する考慮事項	40
Red Hat Enterprise Linux AS で Korn シェルが必須 (28782)	40
Red Hat Enterprise Linux AS で除外された機能	41
Red Hat Enterprise Linux AS 上の Apache 2.0 Web サーバと ServletExec 5.0 (28447/29518)	41
レポートのサーバの必須パッチ クラスタ	42

第 4 章: 一般的な考慮事項 43

ポリシー ストアでの IdentityMinder オブジェクトのサポート (29351)	43
Windows 認証方式による NTLM 認証方式の置換	43
非 Unicode データベースで SQL クエリー方式を使用する場合のパフォーマンスの問題 (144327)	44
サポートされていない機能	44
システム管理の制限	45
ポップアップ ブロックによるヘルプ表示の妨害	45
最大接続数の設定でレジストリ設定が不要 (27442)	45
ポリシー サーバの制限	46
ユーザ パスワードの先頭スペースが許可されない場合がある (27619)	46
パスワード サービスが有効な場合のログオン パスワード変更エラー (26942)	46
特定のポリシー ストアの証明書マッピングの問題 (27027/30824/29487)	46
共有秘密鍵ロールオーバーが有効な場合のハンドシェイク エラー (27406)	47
SecureID フォーム認証方式を使用した場合の内部サーバ エラー (39664)	47
X.509 クライアント証明書またはフォーム認証方式の問題 (39669)	47
特定のユーザ名の文字による認証/許可の問題 (39832)	47
SafeWord 認証のデバッグ ログによりポリシー サーバが失敗する (42222/43051)	48

LDAP ネームスペース用の Active Directory 統合拡張機能 (43264/42601)	48
ポリシー サーバで Radius ログのロールオーバーがサポートされない (44398) (43729) (42348)	48
smnssetup ツールの廃止 (44964) (45908) (46489)	48
既存のポリシー サーバオブジェクトのコピー作成オプション.....	49
ユーザ ディレクトリ制限.....	49
ODBC ユーザ ストアのフェイルオーバー.....	50
Perl スクリプト インターフェース制限.....	50
PolicyMgtAPI の Perl use ステートメントは AgentAPI の use ステートメントより前に必要 (24755)	50
配列を返すメソッドによって undef の 1 要素配列が返される問題 (28499)	50
Perl スクリプト インターフェースと複数値をとるエージェント設定パラメータ (37850)	51
日本語版ポリシー サーバの制限.....	51
エージェント共有秘密鍵の文字数は最大 175 文字 (30967/28882)	51

第 5 章: 12.5 で修正された問題 53

WebLogic エージェントが DMS グループ メンバシップの詳細の取得に失敗する (CQ155207)	53
Web サービス変数が、ネストされた変数でアンパサンド (&) をエンコードしない (CQ151736)	53
Web サービス変数解決 HTTP スレッドがソケットを閉じない (CQ154111)	54
ServerHeartbeat スレッドクラッシュ (CQ156277)	54
接続制限を超えると、ポリシー サーバがハングする (CQ157598)	54
FSS 管理 UI がパスワードにアンパサンドを含む外部の管理者を認証しない (CQ157596)	55
MaxThreadCount が 10 を超える値を受け入れない (CQ153043)	55
UseSecureCookies パラメータおよび高度なパスワード サービス (CQ153055)	56
ホスト設定オブジェクトに関する 12.0.3.9 の 管理 UI および FSS 管理 UI の不整合 - クラスタ (CQ160633)	57
ポリシー ストア 6.OSP5CR09 でポリシー サーバ 12SP3CR09 を実行すると、ポリシー サーバがランダムにクラッシュする (CQ158841)	58
OneView が HitRate と矛盾する値を表示する (CQ155300)	58
ServletExec の誤った情報 (161421)	58
レポート サーバの SQL Server 認証情報 (161427)	59
ポリシー ストア スキーマ ドキュメントの改訂 (161413)	59
ポリシー ストア アップグレード ドキュメント (160518)	59
RadiantOne のサポートの誤った記載.....	60
MySQL ファイルの誤った場所 (159256)	60
r6.x ポリシー ストアをインポートした後にレルムまたはポリシーを変更すると 管理 UI がポリシー オブジェクトからユーザを削除する (157701)	60
アプリケーション オブジェクト ロールでのプールによるユーザ ディレクトリ属性マッピングが失敗する (154130)	61

CA SSO (smauthetsso) カスタム認証方式が Windows 上の FIPS モードで失敗する (150671/164657)	61
LDAP 認証レイヤでのデッドロック状態 (162301)	61
r6.x 拡張ポリシー ストアを参照しているとき、smregghost を使用したホスト登録が失敗する (164607)	62
Kerberos 認証が Active Directory で多くのグループ メンバシップを持ったユーザに対して失敗する (154373/164659)	62
複数のユーザ ディレクトリがドメインに設定されていると OpenID 認証が失敗する (162951)	63
ポリシー サーバが r6.x ポリシー ストアを使用するパスワード ポリシーでユーザ ディレクトリからユーザを認証できない (160138)	63
Windows 上で C: 以外のドライブを使用すると、ポリシー サーバ設定ウィザードが失敗する (153459)	64
ポリシー サーバ設定ウィザードに JDK/JRE バージョンの最小要件が間違っ表示される (157948)	64
r6.x 拡張ポリシー ストアを使用すると、ポリシー サーバがリソースを適切に保護しない	65
Identity Manager 統合が有効なとき、Linux 上のポリシー サーバが異常終了する (151725/150968)	65
インストール中にポリシー サーバインストーラが FSS UI 用の IPlanet Web サーバ/ASF Apache の設定に失敗する (155738)	66
暗号化キーにドル記号 (\$) 文字が含まれていると、ポリシー サーバインストーラがハングする (160825)	66
ポリシー サーバの競合状態によって Java ポリシー管理 API を使用してエージェント設定オブジェクトを更新できない (154521/164660)	67
r12 SP3 から r12.5x ポリシー サーバにアップグレードすると XPSDDInstall が異常終了する (158655)	67
FSS アプレット UI が RH5 で起動しない [157387]	68
FSS UI でポリシー定義内に 10 を超える IP アドレスが許可されない (158631/163943)	68
UNION ベースのクエリ方式で設定された ODBC ディレクトリ内のユーザに対して認証が失敗する (159354)	69
ポリシー サーバが証明書で AKI (Authority Key Identifier) 属性を指定する LDAP ディレクトリサーバと SSL を介して通信できない (160293/164029)	69
管理 UI および smkeytool が 1024 文字を超える証明書を Active Directory ポリシー ストアに正しくインポートして格納できない (160848)	70
ポリシー サーバ設定ウィザードが Windows (Windows 2008/Windows 2008 R2) で FSS UI を中断する (157938)	70
ポリシー サーバが、アプリケーションオブジェクトにバインドされた OnAuthAttempt ルールの処理を異常終了する (161793)	71
ロードバランシングが管理 UI で設定されている場合、ポリシー サーバが Active Directory 内のユーザの許可に失敗する (160607)	71

第 6 章: 12.51 で修正された問題

73

管理 UI ローカライゼーションの文字列が不足している [148680]	73
Web ページのセット内で Web ページを見つけるのに利用可能な複数の方法 [149533]	73
SiteMinder トレース ログにホスト名がない [151003]	74
HTTPSCient.java がレスポンスで 1 バイトを切り捨てる [151370]	74
管理 UI がフェールオーバーのしきい値を表示しない [152997]	74
匿名認証方式のセッション部分が Firefox または Safari ブラウザで無効にならない [154723]	75
ユーザ別アクティビティ レポートの日付が正しくない [153070]	75
saml.namespace.prefix が変更されない [153074]	76
VEXIST 関数が動作しない [153135]	76
ポリシー サーバがデータベースとの接続を再確立できない [153300]	77
アップグレード後に SAML 認証方式を保存するとエラー メッセージが表示される (CQ153307)	77
監査ログのタイム スタンプの異常 [153382]	78
ポリシー サーバ R12 Sp3 ビルド 258 Solaris 10 のセットアップ失敗 [153536]	78
非 ASCII 文字を使用する名前付き式が失敗する [153544]	79
管理アプレットでポリシー内に 10 の IP アドレスしか許可されない [153776]	79
レルムでのクエリ パラメータによる SAML ターゲットに失敗する [153791]	80
SM r6sp6cr2 ポリシー サーバが起動すると、イベント ビューアにエラーが発生する [153912]	80
SSL が有効な UD (ODBC) に接続すると、XPSCounter が動作しない [153920]	81
FSS UI からエージェント設定オブジェクトにアクセスするとポリシー サーバが失敗する [154104]	81
.....	81
ポリシー サーバプロファイラが新しいログの先頭にヘッダを追加しない [154520]	82
ポリシー サーバプロファイラ トレース ログ内の認証メッセージに TransactionID がない [155208]	82
.....	82
アクセス リソースによってインパーソネーションが許可されなかった後に SMSAVEDSESSION が削除される [155736]	83
自動スワイプ設定が false に変わらない (CQ157057)	83
パスワードポリシーによって RSA Ace/SecureID パスワードを変更できない場合がある (157216)	83
LOG LOCAL TIME レジストリの切り替えに関する問題 [158101]	84
混在環境のポリシー サーバが失敗する (158841)	84
One View モニタが NULL ポインタ例外を表示する [158990]	85
Oracle で一括ロード監査レコードが失敗する (161705)	85
PS 設定ウィザードが LDAP 設定の再試行を許可しない [157947]	86
HTTP ヘッダの Kerberos チケットによって認証が失敗する (159208)	86
フランス語の言語パックを備えた Windows Server 2008 R2 の 管理 UI で、フェデレーション パートナシップを作成できない (159616)	87
ホスト設定オブジェクト内の 管理 UI および FSS UI の不整合 - クラスタ設定 [159938]	87
SharePoint のユーザ選択のタイムアウト (CQ160259)	88
ポリシー サーバが監査ストアでの ODBC エラーをレポートする (161511)	88
Java スタック トレースによる機密情報の提供 [161676]	89

安全な Cookie の有効化.....	89
Cookie の問題： HttpOnly フラグが設定されていない [161680]	90
SAML トークンクレームにすべてのアクティブディレクトリグループが含まれない [161738]	90
IBM Directory Server リフェラルおよび SiteMinder	91
ポリシーストアのインポート中にポリシーサーバのメモリ消費が増加する (167569)	91
管理 UI により、ブラウザがパスワードフィールドの内容を格納およびオートコンプリートできる (161675)	92
管理 UI はクリックジャッキング攻撃に対して脆弱.....	92
証明書の AKI 属性に関する問題 (CQ164030)	93
管理 UI で検索クエリを作成できない (165003)	93
グローバル権限イベントおよび匿名認証 (165663)	94
特殊文字を使用してユーザ名を作成できない	94
DoManagement コールの高負荷下でのポリシーサーバの失敗 [168102/168994]	94
CA SiteMinder for Secure Proxy Server を使用して管理 UI を保護するためのドキュメント (182613)	95

第 7 章: 12.52 で修正された問題 97

イベントライブラリファイルドキュメント (178452)	97
login.fcc ファイルへのアクセス時に Apache プロセスが異常終了する (177053)	97
[パートナーシップの作成] ドロップダウンが正しく表示されない (176737)	98
r12 のポリシーサーバへのアップグレードに関する情報が不明確 (176533)	98
アップグレード後に管理 UI が動作しない (176504)	98
フェデレーションパートナーシップの操作中に、管理 UI がエラーになる (175622)	99
EPM アプリケーションで認可が失敗する (175148)	99
LDAP 表示で、管理 UI によって余分な丸かっこのペアが追加される (174905)	99
R12.51 cr01 では smkeytool によって 2 つのファイルはインポートされません (174693)	100
AD/AD LDS ユーザストア内の Latin ISO ユーザは認証を実行できない (174354/172053)	100
LDAP ユーザディレクトリ上の VLV インデックスにより SiteMinder エージェントグループの検索 が失敗する (174279)	101
アップグレードの結果、CPU 使用率が突然急激に上昇する (174236)	102
SiteMinder Web サービスドキュメント (173173)	102
管理 UI が正しくローカライズされていない (173072)	102
ポリシーサーバがランダムにエラーになる (172992)	103
shfedimport.sh 内の jar ファイルの位置が正しくない (172882)	103
カスタム認証方式を使用するとメモリリークが発生する (172871)	104
認証 REST インターフェースタグにおけるエラー (172762)	104
ACO オブジェクト変更時の PS レスポンスの遅延 (172272)	104
アイデンティティマッピングが機能しない (172128)	105
Web エージェントまたは Web エージェントオプションパックの起動が失敗する (172124)	105

ポリシー サーバが FIPS 専用モードで実行されている場合、テスト ツールの基本再生モードが機能しない (154109)	106
アクティブな式の処理エラー	106
SAML SP オブジェクト内のユーザ編集時の例外	107
管理 UI コンソールにセクション全体がない	107
インポート中のリモート IdP からリモート SP へのエンティティ タイプの変更 (170262)	107
管理 UI の認証許可 Web サービス デフォルト設定テンプレートがありません	108
ポリシー サーバでログがロールオーバーされない (170020)	108
不正な検索フィルタ エラー (169127)	109
ポリシー内の SQL エントリを編集できない	109
「Web エージェント設定ガイド」の ACO パラメータのデフォルト値が不明瞭 (155294)	109
「SiteMinder Agent for JBoss Guide」で、UNIX 環境設定用に不正なディレクトリが指定されている (165866)	110
「ポリシー サーバインストールガイド」の必須 Linux ライブラリのリストが不完全 (169240、169427)	110
「ポリシー サーバ設定ガイド」に、インパーソネーション方式の前提条件に関する間違っただ情報が含まれている (PROD00172378)	111
「ポリシー サーバインストールガイド」の管理 UI Linux 前提条件情報は統合が必要 (171403)	111
「ポリシー サーバ管理ガイド」で、監査データ ODBC データベースのバルク ロードに関する追加情報が必要 (159529)	112
OpenID 認証プラグインの追加	112

第 8 章: 12.52 SP1 で修正された問題 113

ポリシー サーバはアクティブな式を処理する間に例外を表示します (63871)	113
ポリシー サーバが監査データベースへの再接続に失敗します (63635)	113
OverlookSessionForMethodUri の例が正しくありません (55896)	114
ブラウザに HTTP 500 エラーが表示されます (55837)	114
並行環境設定時のインデックス管理についての情報が見つかりません (55685)	114
コンソール モードでの高度な認証設定方式が見つかりません (55674)	115
アイドル タイムアウト後のリソースへのアクセス エラー (55576)	115
ポリシー サーバがシャットダウン中に突然終了します (55570)	115
暗号化キーの非互換性 (55463)	116
smaphistory が「忘れたパスワード サービス」中に更新されません (55422)	116
ポリシー サーバ サービスが異常終了します (55358)	116
XPSSweeper がコアを生成します (55357)	117
[ネストされたグループの許可] オプションが表示されません (55353)	117
smpolicy.xml のインポートが失敗します (55352)	117
ポリシー サーバが突然終了します (55316)	118
認証および認証オプションが無効になっています (54947)	118
SP による SLO リクエストの開始時に例外が発生します (54466)	118

WS-フェデレーション レスポンスに不適切な時間形式があります (54455)	119
アクセスログがリアルタイムに更新されません (54427)	119
パスワード変更時に不適切なエラーメッセージが表示されます (54263)	119
ポリシー サーバがコア ダンプで突然終了します (54203)	120
ポリシー ユーザのパスを設定できません (53882)	120
アサーション署名スレッド内のスパイク (52996)	120
現在アクティブなスレッドの数が正しくありません (52932)	121
AD をユーザストアとして有効化する手順に関するドキュメント更新 [181087]	121
ドキュメントの誤り: [認証方式グループ] の UI [181220]	122
ドキュメントの誤り: SecureID HTML フォームのディレクトリの内容一覧 (184814)	122
Red Hat 上での SM パフォーマンスに関するドキュメント更新 [181331]	123
ドキュメントの誤り: 変数のタイプミスが未解決 [181424]	123
ドキュメントの誤り: ODBC データベース概要 [181891]	124
管理 UI のバージョンがポリシー サーバのバージョンと一致しない [183994]	124
フェールオーバー中にポリシー サーバがコア ダンプを作成する (183017)	125
XPSSweeper エラー -181643.....	125
レルム関連付けの説明が空白 (181488)	126
管理 UI の失敗: java.lang.StackOverflowError [179026]	126
RADIUS 認証レスポンスの無効な値 [178573]	127
SMACCESS.log ファイルの文字数制限 [177754]	127
ドメイン ポリシー設定におけるエラー [177554]	128
カスタム認証スキームでパスワード サービスがトリガされない [177537]	128
ポリシー サーバ再起動後にユーザが管理 UI 内の証明書を表示できない [175381]	129
データベース タイプを選択するメニューが smjdbcsetup.sh コマンドで表示されない [173755]	130
認証/許可のリクエストが SmTest の [高度な再生] で失敗する [172968]	130
AD ネームスペースのネスト グループ [171652]	131
ログの SmdsLdapConnMgr Bind-Init エラー [169288]	131
ドキュメント更新: セッション保証の手順の修正 [181072]	132
管理 UI の検索の失敗 (179822)	132
管理 UI JDK バージョンの更新が必要 [179817]	133
XPSImport -validateOnly による SMRegistry の上書き [179084]	133
ポリシー サーバ再起動後の管理 UI で発生する NULL ポインタ例外 [175478]	134
ポリシー ストアのディレクトリ サーバがダウンしている場合、ポリシー サーバが反応しない [174218]	134
エージェントインスタンスにおけるサブタイプによる並べ替えの失敗 [173590]	135
認証コンテキストテンプレートが管理 UI で表示されない [173304]	135
管理 UI でのパスワードポリシーによる制限 [173210]	136
管理 UI で SSL の選択内容をクリアできない [171975]	137
(一般) SET 関数の式を作成するときにエラー「特権式 "{0}" への参照です」が表示される [171974]	137

SMPS ログにおける LDAP バインドエラー [170511]	138
ドメイン、レルム、ルール、およびレスポンスで検索すると、[説明] オプションが表示されな い [166526]	138
2 番目のコンポーネントをアプリケーションに追加すると、イベント処理で問題が発生する (166376)	139
FIPS 環境変数作成の自動化 [179935]	139

第 9 章: ドキュメント 141

SiteMinder マニュアル選択メニュー	141
既知の問題	142
マニュアルのリリース番号	142
コマンドラインスクリプト (CLI) のドキュメント	143

第 10 章: プラットフォーム サポートおよびインストール メディア 145

プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス	145
マニュアル選択メニューの使用	146
インストールメディアの検索	146

付録 A: サードパーティソフトウェアの使用許諾契約書 149

付録 B: アクセシビリティ機能 151

製品拡張機能	151
管理 UI 用のアクセシビリティ モードを設定する方法	155
ポリシー サーバオブジェクトの変更	156
管理者タイプの選択	157
管理者用のアクセシビリティ モードの設定	159

第 1 章: 新機能

SiteMinder データストアとしての PostgreSQL

Microsoft PostgreSQL データベースをポリシーストア、キーストアおよびセッションストアとして使用できるようになりました。PostgreSQL は、手動で設定するか、ポリシーサーバのインストール中に自動設定されるように選択することができます。

<stmdnr> データストアとしての Oracle Database 12c

ポリシーストア、キーストア、セッションストア、ユーザストア、および監査ストアとして、Oracle Database 12c を使用できるようになりました。

ポリシーサーバによる 2 つのマルチバイト データベースのサポート

ポリシーサーバで以下の 2 つのデータベースをサポートするようになりました。

- SQL SVR 2K12 マルチバイト
- Active Directory 2K12 マルチバイト

これらのデータベースは、ポリシーストア、キーストア、セッションストアおよびユーザストアとして機能できます。

第 2 章：既存機能の変更点

ポリシー サーバによる CABI の新バージョンのサポート

このリリースから、ポリシー サーバは CA Business Intelligence (CABI) バージョン 3.3 SP1 のみをサポートするようになりました。ポリシー サーバインストールキットには、CABI 3.3 インストーラおよび CABI 3.3 SP1 インストーラが含まれています。CABI 3.3 をインストールし、次に CABI 3.3 SP1 をインストールする必要があります。

CAPKI のアップグレード

SiteMinder がアップグレードされ、CAPKI 4.3.4 を使用して、以下の OpenSSL 脆弱性を修正するようになりました。

- CVE-2014-0224: An SSL/TLS MITM の脆弱性は、OpenSSL 0.9.8y 以前に存在します。攻撃者は、注意深く作られたハンドシェイクを使用して、OpenSSL SSL/TLS クライアントおよびサーバ内の脆弱なキー材料の使用を強制できます。これは、攻撃を受けたクライアントおよびサーバからのトラフィックを攻撃者が復号化し変更することで、MITM (Man-in-the-Middle、中間者) 攻撃に悪用される場合があります。
- CVE-2014-0221 : DTLS 再帰エラーは OpenSSL 0.9.8y 以前に存在します。OpenSSL DTLS クライアントに無効な DTLS ハンドシェイクを送信してコードを再帰させることにより、DoS 攻撃のクラッシュを引き起こす場合があります。
- CVE-2014-3470 : 匿名 ECDH サービス拒否エラーは OpenSSL 0.9.8y 以前に存在します。匿名 ECDH ciphersuites を可能にする OpenSSL TLS クライアントは、サービス拒否攻撃の対象となります。
- CVE-2014-0076 : 攻撃に対する修正プログラムについては「Recovering OpenSSL ECDSA Nonces Using the FLUSH+RELOAD Cache Side-channel Attack」を参照してください。

脆弱性の詳細については、OpenSSL ドキュメントを参照してください。

第 3 章: インストールとアップグレードに関する考慮事項

オペレーティング システムのサポート

ポリシー サーバ、管理 UI、およびレポート サーバをインストールする前に、サポートされているオペレーティング システムおよびサードパーティ ソフトウェアを使用していることを確認します。

詳細情報:

[プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス \(P. 145\)](#)

セッション リンカのバージョン

セッション リンカのバージョン 12.52 は、ポリシー サーバの 12.52 SP1 バージョンと共に使用する適切なバージョンです。

アップグレード情報ページ

「SiteMinder アップグレード ガイド」のほか、CA サポート オンラインには役に立つアップグレード情報が記載されています。詳細については、「[CA 12.52 SP1 アップグレード情報ページ](#)」を参照してください。

システム ロケールは、インストールおよび設定ディレクトリの言語と一致する必要がある

英語以外のディレクトリに SiteMinder コンポーネントをインストールおよび設定するには、システムをディレクトリと同じロケールに設定します。また、必要な言語パッケージをインストールして、ローカライズされた文字をシステムで表示でき、ユーザがインストーラ画面で入力できることを確認します。

ロケールおよび必要な言語パッケージの設定方法の詳細については、各オペレーティングシステムのドキュメントを参照します。

SiteMinder インストーラの多言語バージョンをサポートするために必要なローカル フォントおよびパッケージ

GUI モードで多言語バージョンの SiteMinder インストールおよび設定プログラムにローカル文字を入力するには、その言語用フォントをオペレーティング環境にインストールします。

RedHat Linux オペレーティング環境については、この [ドキュメント](#) に示されているパッケージをダウンロードします。

Solaris 上の Java 仮想マシン インストール エラーは無視可能 (149886)

症状:

Solaris プラットフォーム上の SiteMinder 製品のコンソールモードインストールを実行しています。次のエラーメッセージが表示されます: 「このインストーラに含まれる Java 仮想マシンをインストールすることができませんでした。」 (Unable to install the Java Virtual Machine included with this installer.)

解決方法:

このエラーは無視してください。このエラーはサードパーティの問題で、機能上の影響はありません。

管理 UI および Internet Explorer 9(149209)

Internet Explorer (IE) 9 を使用して管理 UI を表示する場合は、互換モードで管理 UI を実行してフォームをサブミットします。

インストール メディア名

以下の SiteMinder コンポーネント用に提供されているインストール実行ファイルを以下の表に示します。

- マニュアル
- ポリシー サーバ
- 管理 UI
- レポート サーバ

注: 情報はプラットフォームによって表示されます。サポートされているオペレーティング システムの詳細については、テクニカル サポート サイトで **12.52 SP1 SiteMinder** プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

マニュアル

SiteMinder マニュアル選択メニューはサポート サイトで提供されています。マニュアル選択メニューはインストーラを必要としません。詳細については、「[マニュアル選択メニューの使用 \(P. 146\)](#)」を参照してください。

ポリシー サーバ

プラットフォーム	インストール実行ファイル
Linux	ca-ps-12.5-sp2-cr-linux.bin
Solaris	ca-ps-12.5-cr-sol.bin
Windows	ca-ps-12.5-cr-win32.exe

cr

累積リリース番号を指定します。12.52 SP1 ベース リリースには累積リリース番号が含まれません。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネントのリリース ノートを参照してください。

管理 UI

プラットフォーム	インストール実行ファイル
Linux	<ul style="list-style-type: none">■ (前提条件) adminui-pre-req-12.5-cr-linux.bin■ (管理 UI) ca-adminui-12.5-cr-linux.bin
Solaris	<ul style="list-style-type: none">■ (前提条件) adminui-pre-req-12.5-cr-sol.bin■ (管理 UI) ca-adminui-12.5-cr-sol.bin
Windows	<ul style="list-style-type: none">■ (前提条件) adminui-pre-req-12.5-cr-win32.exe■ (管理 UI) ca-adminui-12.5-cr-win32.exe

cr

累積リリース番号を指定します。12.52 SP1 ベース リリースには累積リリース番号が含まれません。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネントのリリース ノートを参照してください。

レポートサーバ

プラットフォーム	インストール実行ファイル
Linux	<ul style="list-style-type: none">■ (レポートサーバ) cabiinstall.sh■ (レポートサーバ設定ウィザード) ca-rs-config-12.5-cr-linux.bin

プラットフォーム インストール実行ファイル

Solaris	<ul style="list-style-type: none"> ■ (レポート サーバ) <code>cabiinstall.sh</code> ■ (レポート サーバ設定ウィザード) <code>ca-rs-config-12.5-cr-sol.bin</code>
Windows	<ul style="list-style-type: none"> ■ (レポート サーバ) <code>cabiinstall.exe</code> ■ (レポート サーバ環境設定ウィザード) <code>ca-rs-config-12.5-cr-win32.exe</code>

cr

累積リリース番号を指定します。12.52 SP1 ベース リリースには累積リリース番号が含まれません。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネントのリリース ノートを参照してください。

詳細情報:

[プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス \(P. 145\)](#)

パスワードポリシー メッセージおよび Active Directory

12.52 SP1 へのアップグレードを行う場合、パスワード サービス フォーム 認証情報コレクタはユーザがよく知らないパスワード変更メッセージを示すことがあります。以下の条件に一致する場合、Active Directory ユーザにはパスワード再利用メッセージが表示されます。

- DisallowForceLogin レジストリ キーは有効です。
注: 詳細については、「ポリシー サーバ設定ガイド」を参照してください。
- Active Directory ユーザディレクトリはパスワードポリシーにバインドされます。
- SiteMinder パスワードポリシーがパスワード履歴を追跡しない。
- Active Directory サービスはパスワード履歴および再利用を追跡します。

このメッセージは、古いパスワードを新しいパスワードとして再利用できないため、パスワード変更が失敗したことを伝えるものです。

FCC プロパティ テンプレート (`smpwservicesUS-EN.properties`) を使用して、パスワード再利用メッセージをカスタマイズできます。テンプレートは、`web_agent_home¥samples¥forms` に置かれます。

`web_agent_home`

Web エージェントのインストールパスを指定します。

カスタマイズされたパスワード変更メッセージ

パスワードサービスが SiteMinder 認証理由コードに基づいて認証失敗メッセージを送信するようにカスタマイズされている場合は、SiteMinder SDK が定義するすべてのパスワードメッセージ値 (`PasswordMsg`) を処理できるか、実装を確認することをお勧めします。

次の目的でパスワードサービスエラー処理が強化されます。

- 認証が失敗した場合にユーザストアが返すエラーコードをより確実に識別する。
- 個別の SiteMinder 認証理由コードを返す。

この拡張機能により、ユーザはよく知らないメッセージを受信する可能性があります。

証明書廃棄リスト(CRL)の発行者

12.52 SP1 へのアップグレードを行い、CRL が LDAP ディレクトリ サービスで格納された場合は、以下の項目を考慮します。

- SiteMinder では、CRL の発行者と、対応するルート証明書の発行者が同一の CA である必要がなくなりました。
- SiteMinder はこの確認を実行しなくなりました。この動作はテキストベースの CRL の要件と一致しています。

廃止された SiteMinder キー ツール オプション

自動スクリプトでキー ツール オプションを使用する場合は、以下のオプションが廃止されていることを考慮します。

■ createDB

このオプションは置き換えられず、`accessLegacyKS` 引数で動作しません。スクリプトがこのオプションを使用する場合：

- オプションは、下位互換性を維持するために実行されますが、`smkeydatabase` を作成しません。
- オプションが廃止されたというメッセージが表示されます。

注: スクリプトが `smkeydatabase` が正常に作成されたことを確認しようとする場合、スクリプトは失敗します。 `smkeydatabase` ディレクトリは **12.52 SP1** ポリシー サーバインストールに存在しません。

■ deleteDB

このオプションは廃止されています。 `removeAllCertificateData` はこのオプションを置換します。スクリプトが `deleteDB` オプションを使用する場合：

- オプションは下位互換性を維持するために実行されます。`smkeydatabase` ではなく、証明書データ ストア内のすべての証明書データが削除されます。
- オプションが廃止されたというメッセージが表示されます。

■ changePassword

このオプションは置換されません。スクリプトがこのオプションを使用する場合：

- オプションは、下位互換性を維持するために実行されますが、パスワードの変更は行いません。
- オプションが廃止されたというメッセージが表示されます。

ポリシーストアのアップグレード

前のリリースで、`smobjimport` ユーティリティを使用して、アップグレード SiteMinder データ交換フォーマット (`smdif`) ファイルをインポートしました。`smpolicy` ファイル (`smpolicy.smdif`) ではなく、アップグレード ファイルをインポートすることで、変更された既存のデフォルト オブジェクトが上書きされるのが防止されました。

このリリースはアップグレード ファイルを必要としなくなりました。`XPSInstall` ユーティリティを使用して、`smpolicy.xml` ファイルをインポートします。このファイルをアップグレードの一環としてインポートするとき、ファイルは変更された既存のデフォルト オブジェクトを上書きしません。

注: ポリシーストアのアップグレードの詳細については、「SiteMinder アップグレードガイド」を参照してください。

12.5 GA および 12.5 CR1 のポリシー サーバ アップグレード要件

12.52 SP1 ポリシーストアに格納される証明書の形式は、ポリシーサーバ **r12.5 GA** およびポリシーサーバ **r12.5 CR** に格納される証明書とは異なります。

そのため、証明書をアップグレードして再インポートする前に、SiteMinder **r12.5 CR2** より前のポリシーストアへインポートされた証明書をエクスポートします。

次の手順に従ってください:

1. ポリシーサーバを **12.52 SP1** にアップグレードする前に、管理 UI または `smkeytool` を使用して、証明書をエクスポートします。
2. 正常に証明書をエクスポートした後に、管理 UI または `smkeytool` を使用して、ポリシーストアから証明書を削除します。
3. ポリシーサーバ **12.52 SP1** へのアップグレード手順を完了します。
4. 管理 UI または `smkeytool` を使用して、証明書 (手順 1 でエクスポートされた) をインポートします。

r6.x から r12.x にアップグレードする際の考慮事項

ポリシー サーバおよびポリシー ストアが 12.52 SP1 へのアップグレード中に混在モードで動作している場合、ポリシー サーバを開始すると、以下のエラー メッセージが表示されます。

```
[8114/21][Fri Oct 15 2010 09:10:26][CA.XPS:LDAP0014][ERROR] 以下を "変更" 中にエラーが発生しました。
```

```
xpsParameter=CA.XPS::$PolicyStoreID,ou=XPS,ou=policysvr4,ou=siteminder,ou=netegrity,dc=PSRoot",text: Object
```

クラス違反

```
[8114/21][Fri Oct 15 2010 09:10:26][CA.XPS:XPSI0024][ERROR] ポリシー ストア ID の保存に失敗しました。
```

これは正常な動作で、SiteMinder 環境に影響しません。

r6.x ポリシー ストアがアップグレードされていないので、このメッセージが発生します。アップグレード処理の一環として、ポリシー ストア データ定義がインポートされます。データ定義がポリシー ストアで利用できないので、エラーが SiteMinder ポリシー サーバログに表示されます。

SSL を使った既存の LDAP ユーザ ディレクトリ接続に関する考慮事項

LDAP ユーザ ディレクトリの SSL 接続を設定するには、証明書データベース ファイルを使用するように SiteMinder を設定する必要があります。

ポリシー サーバでは、証明書データベース ファイルを Netscape ファイル形式 (cert8.db) にする必要があります。既存の cert7.db 証明書データベース ファイルを cert8.db に変換するために、ポリシー サーバにインストールされた Mozilla ネットワーク セキュリティ サービス (NSS) certutil アプリケーションを使用します。

注: 以下の手順では、タスクを実行するための具体的なオプションおよび引数について詳しく説明します。NSS ユーティリティのオプションおよび引数の全リストについては、[NSS プロジェクト ページ](#)にある Mozilla マニュアルを参照してください。

重要: Windows Server 2008 上で SiteMinder ユーティリティまたは実行可能ファイルを実行する前に、管理者権限でコマンドライン ウィンドウを開きます。アカウントに管理者権限がある場合でも、このようにコマンドライン ウィンドウを開きます。

証明書データベース ファイルを変換する方法

1. コマンドプロンプトから、ポリシー サーバインストール bin ディレクトリに移動します。

例: C:\Program Files\CA\SiteMinder\bin

注: Windows には固有の certutil ユーティリティがあります。ポリシーサーバ bin ディレクトリから作業していることを確認してください。そうしないと、間違えて Windows certutil ユーティリティを実行する場合があります。

2. 以下のコマンドを入力します。

```
certutil -L -d certificate_database_directory [-p prefix_name] -X  
-d certificate_database_directory
```

変換する証明書データベースが含まれているディレクトリを指定します。

-p *prefix_name*

(オプション) 既存の cert7.db ファイル (たとえば my_cert7.db) を作成するときに使用したプレフィックスを指定します。

Certutil は既存の cert7.db ファイルを cert8.db 形式に変換します。

ローカライズ版のインストールに関する考慮事項

ポリシー サーバを英語版以外のオペレーティング システムにインストールする場合は、以下の制限事項を考慮してください。

- 名前にマルチバイト文字を使用しているディレクトリには、管理 UI をどのモード（サイレント、コマンドライン、GUI）でもインストールできません。
- Windows 2008 の場合、ユーザ アカウントごとに異なる地域および言語を設定することができます。ただし、システム アカウントとその他のサービス アカウントは、デフォルトの日本語ロケールを使用するように設定する必要があります。そうしないと、インストールするコンポーネントが初期化されません。

システム アカウントおよびその他サービス アカウントのロケールの設定については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

ETPKI ライブラリのインストール

ポリシー サーバおよび Web エージェント インストールには CA ETPKI ライブラリが含まれます。

Windows オペレーティング環境の場合、ポリシー サーバまたは Web エージェントのインストール先のマシンに CA ETPKI ライブラリが存在すれば、インストーラは既存の ETPKI ライブラリをコンポーネントに含まれているバージョンにアップグレードします。CA ETPKI ライブラリの場所を変更されません。

UNIX オペレーティング環境の場合、CA ETPKI ライブラリが UNIX ファイルシステム上でどこかに存在していても、インストーラは `installation_location/ETPKI` ディレクトリに CA ETPKI ライブラリをインストールします。

連結されたポリシー サーバと Web エージェントのアップグレード

Windows で該当

症状:

ポリシー サーバと Web エージェントが同じホスト システムにインストールされている場合、ポリシー サーバのアップグレード後に、IIS Web サーバが起動できず、エラーがイベント ビューアに記録されます。

解決方法:

Web エージェントをアップグレードします。Web エージェントをアップグレードした後、IIS Web サーバを起動します。

カスタマイズされたファイルの変更

ポリシー サーバのアップグレード中に、インストーラは特定のファイルの新規バージョンを作成します。インストーラは、*policy_server_home/config* ディレクトリに、以下のファイルを作成します。

- conapi.conf
- JVMOptions.txt
- profiler_templates
- siteminder.conf
- SMocsp.sample.conf
- SmSWEC.cfg
- smtracedefault.txt
- snmp.conf
- snmptrap.conf
- trace.conf

インストーラは、*policy_server_home/properties* ディレクトリに、以下のファイルを作成します。

- AMAssertionGenerator.properties
- AssertionGeneratorFramework.properties
- cdslog4j.properties
- EntitlementGenerator.properties
- FederationAttributeConfig.properties
- InfoCard.properties
- JSAMLAssertionStrings.properties
- JSAMLProtocolStrings.properties
- log4j.properties
- LoggerConfig.properties
- logging.properties
- openformatexpression.conf
- scriptActiveExpConfig.properties
- smkeydatabase.properties
- WebServiceConfig.properties
- xsw.properties

これらの 12.52 SP1 ファイルは *.new* という拡張子を使用します。たとえば、旧バージョンからの *JVMOptions.txt* ファイルはそのままになります。インストーラは *JVMOptions.txt* ファイルの 12.52 SP1 バージョンを作成し、それは「*JVMOptions.new*」と命名されます。

元のファイルにカスタマイズされた設定が含まれていた場合は、必ずカスタマイズされた設定で *.new* ファイルを変更します。元のファイルの拡張子で *.new* ファイルの名前を変更します。

たとえば、*JVMOptions.txt* ファイル内にカスタム設定があった場合は、それらの変更を *JVMOptions.txt.new* へコピーします。名前を *JVMOptions.txt.new* から *JVMOptions.txt* へ変更します。

UNIX 上の PS と SQL Server 間の接続

Red Hat または Solaris 上の SiteMinder ポリシー サーバを Microsoft SQL Server 2008 データベースに接続しようとする場合、system_odbc.ini ファイルの [ODBC] セクションで指定される TraceFile、TraceDll、InstallDir パラメータへのパスを正しく定義する必要があります。そうしないと、接続エラーが発生する場合があります。

インストールでのパスワードの文字制限(72360)

ポリシー サーバ、CA レポート サーバ、管理 UI をインストールする際、各種コンポーネントのパスワードを指定する必要があります。以下の点について考慮してください。

ポリシー サーバ

パスワード情報を入力する際、以下の文字は予約または制限されているため使用できません。

- (Windows のみ) パーセント記号 (%)
- (InstallAnywhere によって予約) ドル記号 (\$)
- (UNIX のみ) アポストロフィ (')
- (UNIX のみ) 引用符 ("")

CA レポート サーバ

パスワード情報を入力する際、以下の文字は予約または制限されているため使用できません。

- (InstallAnywhere によって予約) ドル記号 (\$)
- (UNIX のみ) アポストロフィ (')
- (UNIX のみ) 引用符 ("")

管理 UI

パスワード情報を入力する際、以下の文字は予約または制限されているため使用できません。

- (UNIX のみ) アポストロフィ (')
- (UNIX のみ) 引用符 ("")

分散 CA ディレクトリ サーバ ポリシー ストア

ポリシー ストアとして機能する複数の DSA を使用している場合、ルータ DSA のホスト情報がポリシー サーバ管理コンソールで最初に表示されていることを確認します。ルータ DSA ホスト情報が最初に表示されていない場合、ポリシー ストア データ定義のインストールを試行するとエラーが発生します。

注: CA Directory Server のポリシー ストアとしての設定の詳細については、「ポリシー サーバインストールガイド」を参照してください。

イベント ハンドラ ライブラリのインポート

ポリシー サーバを 12.52 SP1 にアップグレードする前に以下の点を考慮します。

- ポリシー サーバ管理コンソールの [詳細] タブにイベント ハンドラ ライブラリが含まれていない場合、XPSAudit イベント ハンドラ ライブラリ (XPSAudit.dll) が [イベント ハンドラ] フィールドに追加されます。ほかに何か実行する必要はありません。
- ポリシー サーバ管理コンソールの [詳細] タブにイベント ハンドラ ライブラリが含まれている場合は、ポリシー サーバのアップグレード後に以下の手順を完了します。
 1. ポリシー サーバ管理コンソールを開き、[詳細] タブをクリックします。
 2. [イベント ハンドラ] フィールドで、現在のイベント ハンドラ ライブラリへのパスを XPSAudit イベント ハンドラ ライブラリへのパスで置換します。

注: XPSAudit イベント ハンドラ ライブラリのデフォルトの場所は `policy_server_home¥bin` です。

`policy_server_home`

ポリシー サーバのインストールパスを指定します。

3. [適用] をクリックします。

イベントハンドラ ライブラリへのパスが保存されます。 [イベントハンドラ] フィールドは無効になります。

注: デフォルトでは、 [詳細] タブに表示される唯一のイベントハンドラ ライブラリは XPSAudit.dll です。

4. 以前使用されていたものなど、追加のイベントハンドラ ライブラリを設定する場合は XPSConfig ユーティリティを使用して XPSAudit リストに追加します。

注: イベントハンドラ ライブラリを設定するための XPSConfig ユーティリティの使用の詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

MDAC バージョン

クライアントおよびサーバ側にインストールされた MDAC バージョンに互換性があることが必要です。

注: 詳細については、Microsoft MDAC のマニュアルを参照してください。

マルチマスタの LDAP ポリシー ストア

マルチマスタ技術を使用する LDAP ディレクトリは、SiteMinder ポリシーストアとして使用できます。 マルチマスタ モードで LDAP ポリシー ストアを設定する場合は、以下の設定が推奨されます。

- 1つのマスタをすべての管理に使用します。
- 1つのマスタをキーのストレージに使用します。

このマスタは、管理に使用されるマスタと同じである必要はありません。ただし、キーと管理の両方に同じマスタ ストアを使用することをお勧めします。この設定では、すべてのキーストア ノードがレプリカではなくマスタを参照している必要があります。

注: キー ストレージに管理用マスタ以外のマスタを使用する場合、すべてのキー ストアで同じキー ストア値を使用する必要があります。キー ストアは、ポリシー ストアおよびキー ストアの両方として機能するよう設定することはできません。

- ほかのすべてのポリシー ストア マスタは、フェールオーバー モードに設定する必要があります。

同期の問題が発生する可能性があるため、これ以外の設定では、ポリシー ストアが破損したりエージェント キーが同期されなくなったりと、不整合な結果が生じる場合があります。

他の設定については、SiteMinder サポートまでお問い合わせください。

マルチマスタの LDAP ユーザ ストア サポート制限 (53677)

マルチマスタの LDAP 拡張機能には以下の制限があります。

- ポリシー サーバでは、バックアップにおいてのみマルチマスタのユーザ ストアをサポートします。パスワード サービスによってユーザ ストアへの書き込みが頻繁に行われるため、マルチマスタのインスタンスでユーザ情報を同時に更新することはできません。また、LDAP の実装ではレプリケーション遅延のために古い情報が生成されたり、データ損失が発生したりする可能性があります。
- カスタム認証方式のようなカスタム コードでは、マルチマスタはサポートされていません。

その他の製品との互換性

複数の製品 (Identity Manager や eTrust SOA Security Manager など) を使用する場合に相互運用性を保証するには、Platform Support Matrices を調べて、製品ごとに必要なリリースがあるかどうかを確認します。プラットフォーム マトリックスは [テクニカル サポート サイト](#) でご覧いただけます。

snmptrap ファイルの更新

このリリースには、更新された snmptrap.conf ファイルが含まれています。インストールの前に、元の snmptrap.conf ファイル (siteminder_installation¥config 内) をバックアップおよび保存してください。

Windows 考慮事項

サポートされた Windows オペレーティング環境には、以下の考慮事項が適用されます。

ポリシー サーバ インストール時の DEP のエラー

症状:

データ実行防止 (DEP) エラーが発生すると、ポリシー サーバを Windows 2008 SP2 にインストールできない場合があります。

解決方法:

1. 重要な Windows プログラムおよびサービスにのみ DEP を設定します。
2. ポリシー サーバのインストーラを実行します。

重要なプログラムおよびサービスに DEP を設定する方法

1. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [詳細] をクリックします。
[詳細設定] タブが開きます。
3. [パフォーマンス] の [設定] をクリックします。
[パフォーマンス オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. [データ実行防止] をクリックし、[重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみに有効にする] を選択します。
5. [OK] をクリックします。

システムの再起動を促すメッセージが表示されます。

注: ポリシー サーバが正常にインストールされた後、すべてのプログラムおよびサービスに対して DEP の設定を元に戻すことができます。

Windows Server 2008 システムの考慮事項

Windows Server 2008 では、ユーザアカウント制御機能によって、許可されていない変更がシステムに加えられるのを防ぎます。ユーザアカウント制御機能が Windows Server 2008 オペレーティング環境で有効な場合、SiteMinder コンポーネントで以下のタスクのいずれかを実行するには、事前にいくつかの手順を実行しておく必要があります。

- インストール
- 設定
- 管理
- アップグレード

注: Windows Server 2008 をサポートする SiteMinder コンポーネントの詳細については、SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder インストールまたは設定ウィザードを実行する方法

1. 実行ファイルを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
2. [許可] をクリックします。
ウィザードが開始します。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder ポリシー サーバ管理コンソールにアクセスする方法

1. ショートカットを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
2. [許可] をクリックします。
ポリシー サーバ管理コンソールが開きます。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder コマンドライン ツールまたはユーティリティを実行する方法

1. [コントロールパネル] を開きます。
2. [タスク バーと [スタート] メニューのプロパティ] で、クラシック [スタート] メニューではなく、[スタート] メニューが設定されていることを確認します。
3. [スタート] をクリックし、検索の開始フィールドに以下を入力します。

Cmd
4. **Ctrl + Shift + Enter** キーを押します。

[ユーザー アカウント制御] ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
5. [続行] をクリックします。

より高い権限でコマンドウィンドウが表示されます。タイトルバーのテキストは「Administrator」で開始されています。
6. SiteMinder コマンドを実行します。

詳細情報:

[CA への連絡先](#) (P. 3)

SiteMinder コンポーネントの展開

SiteMinder コンポーネントを Windows 2008 SP2 上に展開している場合、同じユーザアカウントを使用してコンポーネントをインストールおよび管理することをお勧めします。たとえば、ドメインアカウントを使用してコンポーネントをインストールした場合、コンポーネントの管理にも同じドメインアカウントを使用します。SiteMinder コンポーネントのインストールおよび管理に同じユーザアカウントを使用しないと、予期しない動作が発生する可能性があります。

Solaris に関する考慮事項

Solaris には以下の考慮事項が適用されます。

Solaris 10 のサポート

ポリシー サーバと **Web** エージェントは、グローバルおよび非グローバルゾーンに対して認定されます。

注: Solaris 10 のサポートに関する詳細は、「ポリシー サーバインストールガイド」を参照してください。

gethostbyname() エラーに起因する SMPS ログ内のエラー (54190)

gethostbyname() がコールされると、ネットワーク接続性エラーが smps ログに表示されます。これらのエラーは、ディレクトリがネットワークで使用可能であっても表示されます。これは Solaris に起因する問題で、Sun バグ ID 4353836 によって解決されています。

Sun は、Solaris 9 用に以下のパッチを提供しています。

Solaris 9

- 112874-16 (libc)
- 113319-12 (libnsl)
- 112970-05 (libresolv)
- 115545-01 (nss_files)
- 115542-01 (nss_user)
- 115544-01 (nss_compat)

Solaris ポリシー サーバのアップグレード(57935)

症状:

お使いのライセンス ファイルが 2005 年 1 月より古い場合、ポリシー サーバではアップグレード後にライセンス ファイルを読み取れない場合があります。ユーザは、有効なエンドユーザライセンスが見つからないというメッセージを受信する可能性があります。

解決方法:

テクニカルサポートに連絡し、新しいライセンス ファイルを要求します。

レポートのサーバの必須パッチ クラスタ

レポート サーバをインストールするのに必要なシステム要件については、「ポリシー サーバインストールガイド」に記載されています。SAP BusinessObjects Enterprise は、追加のパッチを提供します。レポートサーバをインストールする前に、以下を実行してください。

1. `temporary_location/docs` に移動します。

`temporary_location`

インストールメディアをコピーした場所を示します。

2. *SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 SP3 for Solaris – Supported Platforms* (supported platforms SP3 - Solaris.pdf) を開きます。
3. Solaris 9 または 10 のパッチ要件を確認します。

この資料は、Solaris 9 および 10 のパッチ要件にのみ使用します。このドキュメント内のサポートされているオペレーティングシステムとハードウェアの要件には、SiteMinder がサポートしないものも含まれています。サポートされているオペレーティングシステムについては、SiteMinder 12.52 SP1 プラットフォーム サポート マトリックスを参照します。システム要件については、「ポリシー サーバインストールガイド」を参照してください。

Red Hat Enterprise Linux AS および ES に関する考慮事項

Red Hat Enterprise Linux AS および ES には、以下の考慮事項が適用されます。

Red Hat Enterprise Linux AS で Korn シェルが必須(28782)

Red Hat AS にインストールされたポリシー サーバには Korn シェルが必須です。Red Hat AS に Korn シェルがインストールされていない場合、ポリシーサーバを制御するコマンド（たとえば `start-all` や `stop-all`）をコマンドラインから実行することができません。

Red Hat Enterprise Linux AS で除外された機能

Red Hat AS 上のポリシー サーバでは以下の機能がサポートされていません。

- Safeword 認証方式
- SiteMinder テストツール

Red Hat Enterprise Linux AS 上の Apache 2.0 Web サーバと ServletExec 5.0 (28447/29518)

Red Hat AS 上で Apache 2.0 Web サーバと ServletExec 5.0 を使用する方法

1. Apache 1.3.x に対して ServletExec 5.0 AS インストーラを実行します。
ServletExec AS Java インスタンスが作成されます。
2. ServletExec および Apache 1.3.x を実行し、`/servlet/TestServlet` を実行できることを確認します。
3. Apache 1.3.x をシャットダウンし、ServletExec は実行されたままにしておきます。
4. 匿名 FTP を使用して、
`ftp://ftp.newatlanta.com/public/servletexec/4_2/patches` にアクセスし、最新の zip ファイルをダウンロードします。
5. zip から以下を抽出します。

```
mod_servletexec2.c
```

6. HP-Apache 2.x の `httpd.conf` ファイルを編集し、ServletExec 固有の必要なディレクティブが含まれているようにします。

注: ServletExec インストーラがインストール中に `httpd.conf` を更新した場合、このディレクティブは Apache 1.3.x の `httpd.conf` ファイル内にもあります。 `httpd.conf` ファイルを編集する詳細については、**New Atlanta Communication ServletExec** のドキュメントを参照してください。

7. Apache 2.x を起動します。
8. 以下にアクセスして、ServletExec で Web サーバをテストします。

```
/servlet/TestServlet
```

レポートのサーバの必須パッチ クラスタ

レポート サーバをインストールするのに必要なシステム要件については、「ポリシー サーバインストールガイド」に記載されています。SAP BusinessObjects Enterprise は、追加のパッチを提供します。レポートサーバをインストールする前に、以下を実行してください。

1. `temporary_location/docs` に移動します。

`temporary_location`

インストールメディアをコピーした場所を示します。

2. [SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 SP3 for Linux] - [サポートされているプラットフォーム] (サポートされているプラットフォーム SP3 - Solaris.pdf) を開きます。
3. Red Hat 5 パッチ要件を確認します。

このリソースは Red Hat 5 パッチ要件にのみ使用します。このドキュメント内のサポートされているオペレーティングシステムとハードウェアの要件には、SiteMinder がサポートしないものも含まれています。サポートされているオペレーティングシステムについては、SiteMinder 12.52 SP1 プラットフォーム サポート マトリックスを参照します。システム要件については、「ポリシー サーバインストールガイド」を参照してください。

第 4 章: 一般的な考慮事項

ポリシー ストアでの IdentityMinder オブジェクトのサポート (29351)

IdentityMinder に対して有効になっていないポリシー サーバは、IdentityMinder オブジェクトを含むポリシー ストアに接続できません。IdentityMinder 5.6 SP2 に対して有効になっているポリシー サーバは、IdentityMinder オブジェクトを含む 12.52 SP1 ポリシー ストアに接続できます。

注: IdentityMinder の設定および展開の詳細については、IdentityMinder Web Edition インストール ガイドを参照してください。

Windows 認証方式による NTLM 認証方式の置換

このリリースには、NTLM 認証方式テンプレートは含まれていません。この認証方式タイプは、Windows 認証テンプレートによって置き換えられました。NTLM 認証のサポートは、新しい認証方式テンプレートによって提供されるようになりました。

非 Unicode データベースで SQL クエリー方式を使用する場合のパフォーマンスの問題(144327)

症状:

非 Unicode データベースでユーザデータを検索するために SQL クエリ方式を使用する場合、パフォーマンスに影響があります。パフォーマンスの低下の原因は、デフォルトのポリシー サーバ動作が、Unicode 検索を有効にするために SQL クエリに「N」を付加することにあります。

解決方法:

この問題は修正されました。SQL クエリ方式を使用して非 Unicode データベース内でユーザデータを検索する場合にパフォーマンスの低下を防ぐには、以下の手順を使用して Unicode 検索を無効にする必要があります。

1. 次のレジストリ設定を作成します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\Database\DisableMSSQLUnicodeSearch
```

2. 設定の値を 1 に設定します。

Unicode 検索は無効です。

STAR イシュー番号 : 20517732-01

サポートされていない機能

SiteMinder は以下の機能をサポートしません。

- 管理 UI が WebSphere で設定された外部管理者ユーザストア
- Red Hat AS 上での SafeWord 認証方式
- Red Hat AS 上での SiteMinder テスト ツール
- Microsoft Active Directory グローバル カタログでのパスワード サービス
- Microsoft Active Directory 2008 のきめ細かなパスワード ポリシー機能によるパスワード サービス
- Novell eDirectory での拡張 LDAP リフェラル

- SiteMinder では、検索と書き込みの Siemens DirX での拡張 LDAP リフェラルのみがサポートされています。
 - パスワード サービス書き込みリフェラルはサポートされています。
 - バインドの拡張リフェラルはサポートされておらず、したがって認証もサポートされていません。

システム管理の制限

システム管理に関して以下の制限が存在します。

ポップアップ ブロックによるヘルプ表示の妨害

特定のポップアップ ブロックまたは Web ブラウザによって、管理 UI ヘルプ ウィンドウの表示が妨げられる場合があります。多くのポップアップ ブロックでは、リンクをクリックするときに CTRL キーを押すとポップアップが許可されます。また、管理 UI からのポップアップを許可するよう Web ブラウザを設定することもできます。

最大接続数の設定でレジストリ設定が不要(27442)

ポリシー サーバの旧バージョンでは、ポリシー サーバサービスごとに 2 つの ODBC 接続が作成されました。以下のレジストリ設定がデフォルト値に代わって使用され、すべてのサービスに対してポリシー サーバによって作成される ODBC の最大数を示しました。

```
Netegrity¥SiteMinder¥CurrentVersion¥Database¥UserDirectoryConnections
```

12.52 SP1 ポリシー サーバでは、接続の最大数は、ポリシー サーバ管理コンソールに指定されたスレッドの最大数に 5 を掛けることによって、動的に決定されます。（管理コンソールの [設定] タブの [パフォーマンス] グループ ボックスを参照）

5.x ポリシー サーバから 12.52 SP1 ポリシー サーバにアップグレードしている場合は、`UserDirectoryConnections` レジストリ設定を削除します。削除しないと、設定によって指定されている値が、ポリシー サーバによって計算されたスレッドの最大数より小さい場合、ポリシー サーバログに多くのエラー メッセージが含まれることとなります。これらのメッセージは、レジストリ設定の値が、ポリシー サーバによって計算された接続の最大数より優先して使用されることを示します。

ポリシー サーバの制限

ポリシー サーバには、以下の制限が存在します。

ユーザ パスワードの先頭スペースが許可されない場合がある(27619)

ユーザのパスワードに先頭のスペースが含まれている場合、以下の状況の組み合わせでは、認証できない場合があります。

- ポリシー サーバが Solaris 上で実行されている。
- 先頭にスペースを含むパスワードは LDAP ユーザ ストアに格納される。

注: パスワード ポリシーは常に有効になっているとは限りません。

パスワード サービスが有効な場合のログオン パスワード変更エラー(26942)

ポリシー サーバでパスワード サービスが有効になっている場合、古いパスワードおよび新しいパスワードの長さが 160 UTF8 オクテットを超えていると、パスワードの変更に失敗する場合があります。

特定のポリシー ストアの証明書マッピングの問題(27027/30824/29487)

ポリシー ストアが以下のディレクトリにインストールされている場合、`IssuerDN` フィールドが 57 文字を超えていると、証明書マッピングが機能しません。

- Novell eDirectory
- Active Directory

共有秘密鍵ロールオーバーが有効な場合のハンドシェイクエラー(27406)

ポリシー サーバエラー ログで、接続が成功した後に続いて、共有される秘密鍵に関連するハンドシェイク エラーが時々発生している場合があります。これは、ポリシー サーバと通信している Web サーバに対して、共有される秘密鍵ロールオーバー機能が有効だった場合に発生する可能性があります。この動作は、正常な共有秘密鍵ロールオーバーの一貫として予期されるものです。これらのエラーは無視してかまいません。

SecureID フォーム認証方式を使用した場合の内部サーバエラー(39664)

SecureID フォーム認証方式を使用している場合、ユーザが最初のログイン時にパスワードを正しく入力しないと、後のログイン試行で正しいクレデンシャルを提供しても、そのユーザにはリソースへのアクセスが付与されません。ポリシー サーバでは内部サーバエラーが表示され、これらのユーザは、続行するために Web ブラウザを再起動する必要があります。

X.509 クライアント証明書またはフォーム認証方式の問題(39669)

代替 FCC 場所を使用している場合、ポリシー サーバの X.509 クライアント証明書またはフォーム認証方式は正常に動作しません。

特定のユーザ名の文字による認証/許可の問題(39832)

ポリシー サーバが LDAP ユーザストアを使用している場合、ユーザ名に &、*、¥および¥¥のような文字が含まれていると、そのユーザ名は正常に認証または許可されません。たとえば、ポリシー サーバでは以下のようなユーザを認証または許可しません。

- use&r1
- use*r2
- use¥r3
- use¥¥r4

SafeWord 認証のデバッグ ログによりポリシー サーバが失敗する(42222/43051)

Solaris 上で、リソースが SafeWord 認証方式によって保護されている場合、SafeWord 設定ファイル SmSWEC.cfg で DEBUG または ALL のロギングを有効にすると、ポリシー サーバが失敗します。そのため、SafeWord 認証方式に対して DEBUG または ALL のロギングを有効にしないでください。SafeWord サーバは、プロトコル 200 または 201 を使用する PremierAccess サーバです。

LDAP ネームスペース用の Active Directory 統合拡張機能(43264/42601)

この制限は、6.0 SP 2 から以下の新しい AD 機能に関連します。

「ユーザアカウント管理およびパスワードサービスの Active Directory との統合の拡張 (SM5504) (28460) (23347) (24047) (25816)」

「Active Directory 統合拡張機能の有効化」セクションの手順に従う際は、この機能が LDAP のみでサポートされ、AD ネームスペースではサポートされないことに注意してください。

ポリシー サーバで Radius ログのロールオーバーがサポートされない(44398) (43729) (42348)

ポリシー サーバには、Radius ログのロールオーバー機能がありません。6.0 より前のリリースでは、`smsservauth -startlog` コマンドの実行によりログをロールオーバーできました。

smnssetup ツールの廃止(44964) (45908) (46489)

smnssetup ツールは 6.0 SP 4 で配布されなくなりました。以下の設定にはポリシー サーバ設定ウィザード(`ca-ps-config`)を使用する必要があります。

- OneView モニタの GUI
- SNMP サポート
- ポリシー ストア

ウィザードでは、GUI を使用するか、コンソール ウィンドウを使用するかをユーザが選択できます。詳細については、「ポリシー サーバインストール ガイド」を参照してください。

既存のポリシー サーバ オブジェクトのコピー作成オプション

管理 UI でポリシー サーバ オブジェクトを作成する場合、同じタイプの既存オブジェクトのコピーを作成するオプションが提供されています。コピー オプションは以下のオブジェクトには使用できません。

- エージェント タイプ
- 認証/許可ディレクトリ マッピング
- 認証/検証ディレクトリ マッピング
- 証明書マッピング
- ユーザ ディレクトリ
- アプリケーション
- アプリケーション リソース
- ドメイン
- ポリシー
- レルム
- Response
- レスポンス属性
- ルール
- グローバル ポリシー
- グローバル レスポンス
- グローバル ルール
- パスワード ポリシー
- 管理者

ユーザ ディレクトリ制限

ユーザ ディレクトリには以下の制限が存在します。

ODBC ユーザ ストアのフェイルオーバー

状況

Solaris 上で、2 つの Oracle ベースのユーザ ストアを使用するようポリシーサーバが設定されています。1 つはプライマリ ユーザ ストアで、もう一方はセカンダリ ユーザ ストアになります。

結果

ネットワークの障害時に、ポリシーサーバがプライマリからセカンダリにフェイルオーバーするまでに 8 分ほどかかります。

解決方法

この時間を短縮するには、TCP/IP 設定 `tcp_ip_abort_interval` を希望する時間に設定します。

Perl スクリプト インターフェース制限

Perl スクリプト インターフェースには以下の制限が存在します。

PolicyMgtAPI の Perl use ステートメントは AgentAPI の use ステートメントより前に必要 (24755)

Solaris で、PolicyMgtAPI の `use` をコールする前に、AgentAPI の `use` をコールした場合、コア ダンプが生じます。両方のモジュールの `use` をコールする場合は、以下の順で行います。

- `use Netegrity::PolicyMgtAPI;`
- `use Netegrity::AgentAPI;`

配列を返すメソッドによって undef の 1 要素配列が返される問題 (28499)

配列を返すメソッドでは、エラーが発生した場合、返すものが何もない場合は `undef` が返される必要があります。しかし、これらのメソッドによって、`undef` が最初の要素として設定された 1 要素配列が誤って返される場合があります。

Perl スクリプト インターフェイスと複数値をとるエージェント設定パラメータ (37850)

Perl スクリプト インターフェイスでは、複数の値をとるエージェント設定パラメータをサポートしません。

日本語版ポリシー サーバの制限

日本語版ポリシー サーバには以下の制限が存在します。

エージェント共有秘密鍵の文字数は最大 175 文字 (30967/28882)

日本語版オペレーティング システム環境では、SiteMinder エージェントの共有秘密鍵に 175 文字を超える文字数を含めることはできません。

第 5 章: 12.5 で修正された問題

WebLogic エージェントが DMS グループ メンバシップの詳細の取得に失敗する (CQ155207)

症状:

グループ メンバシップの検索中に、エージェントが以下のエラーを返しました。

SmUserDirectory エラー

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20747701:01

Web サービス変数が、ネストされた変数でアンパサンド(&)をエンコードしない (CQ151736)

症状:

Web サービス変数が、ネストされた変数でアンパサンド (&) を適切にエンコードしていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : # 20726860:01

Web サービス変数解決 HTTP スレッドがソケットを閉じない (CQ154111)

症状:

Web サービス変数解決 HTTP スレッドがポリシー サーバ上で適時にソケットを閉じません。ソケットの状態が `CLOSE_WAIT` のままです。高負荷環境では、この状況によってファイル記述子が足りなくなります。

解決方法:

この問題は修正されました。

ServerHeartbeat スレッド クラッシュ(CQ156277)

RedHat に該当

症状:

ServerHeartbeat スレッドがクラッシュしました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20872776:01

接続制限を超えると、ポリシー サーバがハングする (CQ157598)

症状:

接続制限を超えると、ポリシー サーバがハングします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20904378:01

FSS 管理 UI がパスワードにアンパサンドを含む外部の管理者を認証しない(CQ157596)

症状:

FSS 管理 UI がパスワードにアンパサンド (&) を含む外部の管理者を認証しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20933409:01

MaxThreadCount が 10 を超える値を受け入れない(CQ153043)

RedHat に該当

症状:

MaxThreadCount 設定が 10 を超える値を受け入れませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20818420:01

UseSecureCookies パラメータおよび高度なパスワード サービス (CQ153055)

症状:

UseSecureCookies パラメータ値を **yes** に設定しても、以下の Cookie に **secure** フラグが設定されない場合があります。 -

- NPSFPSDN
- NPSFPSMacros
- NPSFPSSpecial
- NPSFPSData

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20716855:01

ホスト設定オブジェクトに関する 12.0.3.9 の 管理 UI および FSS 管理 UI の不整合 - クラスタ(CQ160633)

症状:

以下の状況が確認されました。

- 管理 UI に、FSS 管理 UI の [クラスタ] タブで作成されるホスト設定オブジェクトの [フェールオーバーのしきい値パーセント] また [フェールオーバーのしきい値] が表示されません。
- 管理 UI でホスト設定オブジェクトの [フェールオーバーのしきい値パーセント] を変更すると、不正な「FailOverThreshold」の名前によって FSS 管理 UI の [一般] タブのパラメータが不正に作成されます。
- FSS 管理 UI の [クラスタ] タブの [フェールオーバーのしきい値パーセント] の変更が、[一般] タブの「FailOverThreshold」パラメータに表示されません。フェールオーバーのしきい値が管理 UI に表示されません。
- FSS 管理 UI の [一般] タブで [FailOverThreshold] パラメータが変更されても、[クラスタ] タブの「フェールオーバーのしきい値パーセント」は変更されません。
- FSS 管理 UI のホスト設定オブジェクトの [一般] タブの「FailOverThreshold」パラメータが [一般] セクションに表示されません。

解決方法:

これらの問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20736264:01

ポリシーストア 6.0SP5CR09 でポリシー サーバ 12SP3CR09 を実行すると、ポリシー サーバがランダムにクラッシュする(CQ158841)

ポリシーストア 6.0SP5CR09 でポリシー サーバ 12SP3CR09 を実行すると、ポリシー サーバがランダムにクラッシュする (CQ158841)

Solaris で該当

症状:

ポリシー サーババージョン 12.0.3.9 は、6.0.5.9 ポリシー ストアを使用するとランダムにクラッシュします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21052167:02

OneView が HItRate と矛盾する値を表示する(CQ155300)

症状:

OneView モニタにより、HItRate の値に整合性がないことが示されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20863232:01

ServletExec の誤った情報(161421)

「ポリシー サーバインストールガイド」では、ServletExec の情報が正しく更新されました。

STAR イシュー番号 : 21123153;2

レポートサーバの SQL Server 認証情報 (161427)

「ポリシー サーバインストールガイド」は、レポートサーバの SQL Server 認証モードの注意事項を含むように更新されました。

STAR イシュー番号 : 21123153;2

ポリシー ストア スキーマドキュメントの改訂 (161413)

症状:

「SiteMinder アップグレードガイド」には、ポリシー ストア スキーマをアップグレードする必要があると誤って記載されていました。

解決方法:

ドキュメントは、ポリシー ストア スキーマを 12.5 が必要とするポリシー ストア オブジェクトに拡張する必要があるという記載に改訂されました。スキーマのアップグレードは必要ありません。

STAR イシュー番号 : 21101867

ポリシー ストア アップグレードドキュメント (160518)

症状:

「SiteMinder アップグレードガイド」に、ポリシー ストアのアップグレード手順が記載されていませんでした。

解決方法:

ドキュメントに以下の記載が追加されました。

- ポリシー ストアのアップグレードを開始する前に、すべてのポリシーサーバを停止する必要がある。
- ポリシー ストアのアップグレードを完了した後に、すべてのポリシーサーバを起動する必要がある。

STAR イシュー番号 : 21132271

RadiantOne のサポートの誤った記載

症状:

実装ガイドに、Radiant Logic, Inc. の RadiantOne™ Virtual Directory Server が誤って記載されていました。

解決方法:

誤った情報は、ガイドから削除されました。

STAR イシュー番号 : 21123716-1

MySQL ファイルの誤った場所 (159256)

「ポリシー サーバインストールガイド」では、MySQL.sql ファイルの場所が正しく更新されました。

r6.x ポリシー ストアをインポートした後にレلمまたはポリシーを変更すると管理 UI がポリシー オブジェクトからユーザを削除する (157701)

症状:

r6.x ポリシー ストアをインポートした後にレلمまたはポリシーを変更すると、管理 UI がポリシー オブジェクトからユーザを削除します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20993077-1

アプリケーション オブジェクト ロールでのブールによるユーザ ディレクトリ属性マッピングが失敗する(154130)

症状:

ブール式が含まれるアプリケーション オブジェクト ロールで定義されたユーザ ディレクトリ属性マッピングを解決できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20881853-1

CA SSO (smauthetsso) カスタム認証方式が Windows 上の FIPS モードで失敗する(150671/164657)

症状:

CA SSO (smauthetsso) カスタム認証方式を使用する認証が Windows 上の FIPS モードで失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20736967

LDAP 認証レイヤでのデッドロック状態(162301)

症状:

LDAP 認証レイヤにおけるエラーによってデッドロック状態になります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21181025;1

r6.x 拡張ポリシー ストアを参照しているとき、smregghost を使用したホスト登録が失敗する(164607)

症状:

ポリシー サーバが、r6.x 拡張ポリシー ストアを参照しているとき、smregghost を使用したホスト登録を許可しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

Kerberos 認証が Active Directory で多くのグループ メンバシップを持ったユーザに対して失敗する(154373/164659)

症状:

Kerberos 認証が、Microsoft Windows Active Directory で多くのグループ メンバシップを持ったユーザに対して失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20906310-1

複数のユーザ ディレクトリがドメインに設定されていると OpenID 認証が失敗する(162951)

症状:

複数のユーザ ディレクトリがドメインに設定されていると、OpenID 認証が失敗し、「nonce verification failed」というエラーが表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21175148;1

ポリシー サーバが r6.x ポリシー ストアを使用するパスワード ポリシーでユーザ ディレクトリからユーザを認証できない (160138)

症状:

ポリシー サーバが、r6.x ポリシー ストアを使用するパスワード ポリシーでユーザ ディレクトリからユーザを認証できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21112688;1

Windows 上で C: 以外のドライブを使用すると、ポリシー サーバ設定ウィザードが失敗する(153459)

症状:

Windows プラットフォームで C: 以外のディスク ドライブを使用すると、ポリシー サーバ設定ウィザードが失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20885033;1

ポリシー サーバ設定ウィザードに JDK/JRE バージョンの最小要件が間違っ表示される(157948)

症状:

ポリシー サーバ設定ウィザードに、JDK/JRE バージョンの最小要件が 1.6.0.30 と間違っ表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20991445

r6.x 拡張ポリシー ストアを使用すると、ポリシー サーバがリソースを適切に保護しない

症状:

r6.x 拡張ポリシー ストアを使用すると、ポリシー サーバが誤ってリソースを保護されていないものとしてマークします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21173076-1

Identity Manager 統合が有効なとき、Linux 上のポリシー サーバが異常終了する(151725/150968)

症状:

Linux ポリシー サーバ上に Identity Manager ディレクトリを設定しようとする、ディレクトリ作成操作が失敗し、ポリシー サーバが異常終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20679358

インストール中にポリシー サーバ インストーラが FSS UI 用の IPlanet Web サーバ/ASF Apache の設定に失敗する(155738)

インストール中にポリシー サーバ インストーラが FSS UI 用の IPlanet Web サーバ/ASF Apache の設定に失敗する(155738)

症状:

インストール中に「Web サーバ」オプションを選択すると、ポリシー サーバ インストーラが FSS UI 用の IPlanet Web サーバ/ASF Apache 32 ビットの設定に失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20982339;1

暗号化キーにドル記号 (\$) 文字が含まれていると、ポリシー サーバ インストーラがハングする(160825)

症状:

暗号化キーにドル記号 (\$) 文字が含まれていると、ポリシー サーバ インストーラがハングします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21136554-1

ポリシー サーバの競合状態によって Java ポリシー管理 API を使用してエージェント設定オブジェクトを更新できない (154521/164660)

症状:

ポリシー サーバの競合状態によって、Java ポリシー管理 API を使用してエージェント設定オブジェクトを更新できない場合があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20932855

r12 SP3 から r12.5x ポリシー サーバにアップグレードすると XPSDDInstall が異常終了する(158655)

症状:

ポリシー サーバを r12 SP3 から r12.5x にアップグレードすると、XPSDDInstall ユーティリティが異常終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21077994-01

FSS アプレット UI が RH5 で起動しない[157387]

症状:

FSS アプレット UI が RH5 で起動しませんでした。FSS UI にポリシー サーバ環境変数がなかった場合、FSS UI が起動しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20982339;1

FSS UI でポリシー定義内に 10 を超える IP アドレスが許可されない(158631/163943)

症状:

FSS UI で、ポリシー定義内に 10 を超える IP アドレスが許可されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20318453

UNION ベースのクエリ方式で設定された ODBC ディレクトリ内のユーザに対して認証が失敗する(159354)

症状:

UNION ベースのクエリ方式で設定された ODBC ディレクトリ内のユーザに対して認証が失敗します。

解決方法:

ポリシー サーバロジックは、ODBC データベース内のユーザを認証するときに以下のように実行するように最適化されています。

1. 「InitUser」で設定された SQL クエリで識別名 (DN) を検証します。このステップでは、DN がユーザかどうかを確認します。
2. 上記で結果が得られなかった場合は、「GetGroupProp」で設定された SQL クエリを実行します。このステップでは、DN がユーザかどうかを確認します。

この最適化により、ポリシー サーバはすべての「ユーザ」認証用の「Get User/Group」で設定される UNION ベースの SQL クエリを実行できません。

STAR イシュー番号 : 21097422-1

ポリシー サーバが証明書で AKI (Authority Key Identifier) 属性を指定する LDAP ディレクトリ サーバと SSL を介して通信できない(160293/164029)

症状:

ポリシー サーバが、証明書で AKI (Authority Key Identifier) 属性を指定する LDAP ディレクトリ サーバと SSL を介して通信できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21125449-1

管理 UI および smkeytool が 1024 文字を超える証明書を Active Directory ポリシー ストアに正しくインポートして格納できない(160848)

管理 UI および smkeytool が 1024 文字を超える証明書を Active Directory ポリシー ストアに正しくインポートして格納できない (160848)

症状:

管理 UI および smkeytool が 1024 文字を超える証明書を Active Directory ポリシー ストアにインポートして格納できません。

解決方法:

管理 UI および SiteMinder キー ツール (smkeytool) は、キー長が 1024 文字を超える証明書をポリシー ストアにインポートして格納できるようになりました。

STAR イシュー番号 : 21131704;1

ポリシー サーバ設定ウィザードが Windows (Windows 2008/Windows 2008 R2) で FSS UI を中断する(157938)

症状:

ポリシー サーバ設定ウィザードが、IIS Web サーバを設定するための前提条件として CGI の IIS の役割をチェックせず、FSS UI を中断します。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシー サーバインストーラは、Windows で CGI の IIS の役割をチェックするようになりました。

STAR イシュー番号 : 20991445

ポリシー サーバが、アプリケーション オブジェクトにバインドされた OnAuthAttempt ルールの処理を異常終了する(161793)

症状:

ユーザが無効な認証情報を指定すると、ポリシー サーバがアプリケーション オブジェクトにバインドされている OnAuthAttempt ルールを処理するときに異常終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21161067-1

ロード バランシングが 管理 UI で設定されている場合、ポリシー サーバが Active Directory 内のユーザの許可に失敗する(160607)

症状:

ロード バランシングが 管理 UI で設定されている場合、ポリシー サーバが Active Directory 内のユーザを許可しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21135327-2

第 6 章: 12.51 で修正された問題

管理 UI ローカライゼーションの文字列が不足している [148680]

症状:

管理 UI ローカライゼーションバンドルのいくつかの文字列が不足しています。

症状:

この問題は、バージョン 2.2 への FW アップグレードで間接的に修正されました。

STAR イシュー番号 : 20680999;1

Web ページのセット内で Web ページを見つけるのに利用可能な複数の方法 [149533]

症状:

VPAT 標準に「More than one way is available to locate a Web page within a set of Web pages except where the Web page is the result of, or a step in, a process. (Web ページがプロセスの結果またはプロセス内のステップである場合を除いて、Web ページのセット内で Web ページを検索するために複数の方法を利用できます)」と示されています。

解決方法:

管理 UI には現在、フッタにサイトマップリンクが含まれており、これにより利用可能なものをすべて表示するページが起動します。リンクをクリックすると、このタスクが起動します。

SiteMinder トレース ログにホスト名がない[151003]

症状:

SiteMinder トレース ログで、ホスト名が Received Agent Request 行の Data 列に表示されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20720366-1

HTTPSClient.java がレスポンスで 1 バイトを切り捨てる [151370]

症状:

HTTPSClient.java が SSL 通信のレスポンスで 1 バイトを切り捨てました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20709184

管理 UI がフェールオーバーのしきい値を表示しない[152997]

症状:

管理 UI に、FSS UI で作成されたホスト設定オブジェクトのフェールオーバーのしきい値が表示されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20736264;1

匿名認証方式のセッション部分が Firefox または Safari ブラウザで無効にならない[154723]

症状：

レルムの認証方式を匿名に変更すると、セッション部分が Firefox または Safari ブラウザで無効になりませんでした。この欠陥によって、ユーザが最大およびアイドルタイムアウトを変更できませんでした。

解決方法：

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号： 20917601-1

ユーザ別アクティビティレポートの日付が正しくない[153070]

症状：

管理者がユーザ別アクティビティ レポートを生成すると、詳細セクションの日付 (Web エージェントの名前の下の日付) が正しくありませんでした。

解決方法：

日付は修正されました。

STAR イシュー番号： 20601274-2

saml.namespace.prefix が変更されない[153074]

症状:

数回試行しても saml.namespace.prefix が saml から ns1 に変わりませんでした。

解決方法:

根本原因は、WSFED プロトコルに対してネームスペースプレフィックスの値を ns1 に明示的にリセットしたことです。詳細な分析後、このネームスペースの設定は WSFED プロトコル内のプレフィックスが ns1 であるアサーションの値を出力することがわかりました。

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20572229;1+20666241;1+20700082;01

VEXIST 関数が動作しない[153135]

症状:

VEXIST 関数が予期したように動作していませんでした。ドキュメントには、VEXIST 関数は、名前付き式、コンテキスト変数、またはユーザ属性を受け取ると記載されています。この関数は、入力パラメータが定義されているかどうかを判断します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20468703;01

ポリシー サーバがデータベースとの接続を再確立できない [153300]

症状:

データベースが更新され再起動された後、ポリシー サーバがデータベースに接続できません。この問題を回避するには、ユーザディレクトリ定義を変更するか、ポリシー サーバを停止して起動します。

解決方法:

デフォルトでは、認証情報が無効である場合、ポリシー サーバはデータベース接続を再試行しません。レジストリ内のキー `EnableRetryForInvalidCredentialsError` を有効にすることにより、接続の再試行を有効にすることができます。`EnableRetryForInvalidCredentialsError` を無効にするには、値をゼロ（デフォルト）に設定します。

STAR イシュー番号： 20775937

アップグレード後に SAML 認証方式を保存するとエラー メッセージが表示される (CQ153307)

症状:

製品を 6.0.4 から 12.0.3 にアップグレードした後に、SAML 認証方式を保存または更新しようとする、以下のエラーメッセージが表示されました。

Issuer value must be unique for all SAML 1.1 POST Auth Schemes

解決方法:

この問題は修正されました。

監査ログのタイムスタンプの異常[153382]

症状:

ユーザは、`smauditimport` ユーティリティを使用して監査ログを ODBC データベースにインポートしようとしていました。その際、レコードをデータベースに挿入中に `smauditimport` がローカル時間を使用し、GMT オフセットが削除されるここがわかりました。

解決方法:

この問題は、`localtime` の代わりに `gmtime` を使用することで解決されました。

STAR イシュー番号 : 20779428-1,20808318-1

ポリシー サーバ R12 Sp3 ビルド 258 Solaris 10 のセットアップ失敗[153536]

症状:

コア ダンプ ファイルに、LDAP 結果処理中に障害が発生したと表示されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20763726-2

非 ASCII 文字を使用する名前付き式が失敗する[153544]

症状:

名前付き式に非 ASCII 文字を使用すると、例外が発生しました。ユーザはそれ以降別の式を作成できませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。名前付き式に非 ASCII 文字を使用できるようになりました。

STAR イシュー番号 : 20830571

管理アプレットでポリシー内に 10 の IP アドレスしか許可されない[153776]

症状:

ポリシー サーババージョン 6.0 SP5 CR15 では、ポリシーの [IP アドレス] タブは IP アドレスを 10 個しか許可しません。管理者が 10 個目の IP アドレスを追加すると、[追加] ボタンはグレー表示になります。

サポートは R12 でテストし、FSS UI で同じ制限を確認しました。管理 UI を使用する場合は、そのような制限はありません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20318453

レルムでのクエリ パラメータによる SAML ターゲットに失敗する [153791]

症状:

一意の SAML 認証方式がレルム レベルで設定されているため、クエリ文字列を含む完全なターゲットが指定されます。クエリ文字列が指定されると、サービス プロバイダは FWS によって保護されていないリソースを参照するので、エラー 500 エラーが発生する結果になります。

解決方法:

URL が保護されているかどうかを判断するコードにより、リクエストにクエリ パラメータが追加されました。

SM r6sp6cr2 ポリシー サーバが起動すると、イベントビューアにエラーが発生する[153912]

症状:

certorform authscheme を使用して、ユーザが保護されているリソースにアクセスしたとき、このエラーが発生しました。

解決方法:

このエラーは修正されました。

STAR イシュー番号 : 20571107;1

SSL が有効な UD (ODBC) に接続すると、XPSCounter が動作しない [153920]

症状:

SSL が有効な UD (ODBC) を含む XPSCounter プログラムを使用すると、セグメンテーションエラーが発生しました。XPSCounter は非 SSL ポートでは適切に動作しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20809282-1

FSS UI からエージェント設定オブジェクトにアクセスするとポリシー サーバが失敗する [154104]

症状:

FSS UI から ACO にアクセスすると、ポリシー サーバはプロパティ セクションを読み取ります。プロパティ セクションに無効なエントリが含まれる場合、ポリシー サーバは失敗します。

解決方法:

プロパティにアクセスする前にプロパティ セクションを検証します。

STAR イシュー番号 : 20797838

ポリシー サーバプロファイラが新しいログの先頭にヘッダを追加しない[154520]

症状:

各新規ログ ファイルの先頭にヘッダを挿入する Web エージェント トレースとは異なり、ポリシー サーバプロファイラはそれを行いません。これによって、ログ ファイル内の問題を適切に処理し解決する機能が阻害されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20890141;01

ポリシー サーバプロファイラトレース ログ内の認証メッセージに TransactionID がない[155208]

症状:

ポリシー サーバプロファイラ トレース ログで、認証ステータス メッセージが記録される行に TransactionID が記録されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20955265-1

アクセス リソースによってインパーソネーションが許可されなかった後に SMSAVEDSESSION が削除される[155736]

症状:

インパーソネーションセッションで、ユーザが SAVEDSESSION Cookie およびインパーソネートされた SMSESSION Cookie を取得します。SAVEDSESSION Cookie が、チャレンジで削除される場合があります。SAVEDSESSION Cookie が削除されるため、ユーザが @smpopsession=true を使用してインパーソネーションからログアウトすることに失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20881788-1

自動スワイプ設定が false に変わらない(CQ157057)

症状:

XPS ツールの自動スワイプ設定が false に変わりませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21044876:01

パスワード ポリシーによって RSA Ace/SecureID パスワードを変更できない場合がある(157216)

症状:

パスワード ポリシーが小文字を強要する設定になっており、新しいユーザが PIN の変更を必要とする場合、変更は失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20958896

LOG LOCAL TIME レジストリの切り替えに関する問題[158101]

症状:

LogLocalTime パラメータが 0x1 に設定された場合、SMPS のイベントがローカル時間で表示されます。LogLocalTime パラメータが 0x0 に設定された場合、SMPS が GMT 時間でイベントをログに記録しました。ポリシー サーバが更新中に LogLocalTime パラメータの読み取りに失敗した場合、LocalTime が LocalTime から GMT に変更されました。

解決方法:

明示的な条件を設定してローカル時間を確認します。この操作が成功すると、Logger Timezone がそれに応じて調整されます。ポリシー サーバが失敗すると、既存の TimeZone 値が保持されます。

STAR イシュー番号 : 20683202-1

混在環境のポリシー サーバが失敗する(158841)

症状:

6.0.5 cr09 ポリシー ストアとの通信時に、12.0.3 cr09 ポリシー サーバが不規則に失敗しました。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシー サーバは、混在環境でランダムに失敗しません。

STAR イシュー番号 : 21052167-2

One View モニタが NULL ポインタ例外を表示する[158990]

症状:

クライアントは、One View モニタでカスタム テーブルを作成しました。クライアントは、テーブルにフィールドを追加しました。モニタには、NULL ポインタ例外が表示されます。言い換えれば、変数に対する NULL チェックがないため、NULL ポインタ例外が表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。 NULL ポインタ例外が発生します。

STAR イシュー番号 : 21010205-1

Oracle で一括ロード監査レコードが失敗する(161705)

症状:

smauditimport ユーティリティの一括ロード機能が Oracle 監査ストアで機能しません。

解決方法:

この問題は修正されました。ユーティリティを使用して、Oracle 監査ストアにレコードを一括ロードできます。

STAR イシュー番号 : 21045785-1

PS 設定ウィザードが LDAP 設定の再試行を許可しない [157947]

症状:

ポリシー サーバ設定ウィザードが LDAP 関連の情報を変更するための再試行オプションを提供しませんでした。ウィザードは単に中止を表示し終了しました。設定が再実行されると、設定はオブジェクトをインポートする手順でスタックしました。

解決方法:

ウィザードは、LDAP 設定の再試行オプションをサポートするようになりました。

STAR イシュー番号 : 20991445

HTTP ヘッダの Kerberos チケットによって認証が失敗する (159208)

症状:

HTTP 認証ヘッダの Kerberos トークンが 4096 バイトを超える場合、Kerberos 認証が失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20906310-1

フランス語の言語パックを備えた Windows Server 2008 R2 の 管理 UI で、フェデレーション パートナーシップを作成できない (159616)

症状:

フランス語の言語パックを備えた Windows Server 2008 R2 では、フェデレーション パートナーシップの作成に失敗し、ポリシー サーバ ログに以下のエラー メッセージが記録されます。

```
09:37:45,021 DEBUG [NamesExceptionHandler] Exception while reading
5328e4c6_sqljdbc.jar
java.util.zip.ZipException: zip ファイルを開く際のエラー
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21081194-1

ホスト設定オブジェクト内の 管理 UI および FSS UI の不整合 - クラスタ設定 [159938]

症状:

HostConfig オブジェクトで、クラスタ設定のフェールオーバーしきい値パーセンテージが 管理 UI に反映されていませんでした。 FSS UI は正常に動作していました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 20736264-1

SharePoint のユーザ選択のタイムアウト(CQ160259)

症状:

大規模なデータベースを検索すると、SharePoint のユーザ選択がタイムアウトになります。ループバック機能は無効にたくありません。

解決方法:

この問題は以下のレジストリ設定で修正します。

EnableSorting

詳細については、「Agent for SharePoint Guide」を参照してください。

STAR イシュー番号 : 20956438:01

ポリシー サーバが監査ストアでの ODBC エラーをレポートする (161511)

症状:

以下の条件が満たされる場合、ポリシー サーバは、停止時に、監査ストアでの ODBC エラーをレポートします。

- 環境に、複数の 12.0.x ポリシー サーバが含まれる。
- 管理ポリシー サーバが、ODBC 監査ストアに対して設定されている。
- 残りのポリシー サーバは、テキストベースの監査に対して設定されている。

解決方法:

この問題は修正されました。

Java スタックトレースによる機密情報の提供[161676]

症状:

Java スタックトレースレポートが、攻撃者にとって貴重であると考えられ、ある詳細情報を提供しました。

解決方法:

この問題は FW 2.2 で解決されました。Java スタックトレースは、管理 UI に表示されなくなりました。

STAR イシュー番号 : 21164212

安全な Cookie の有効化

症状:

管理 UI を HTTPS に登録した後に安全な Cookie を有効にする方法に関する情報がありませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。「ポリシー サーバインストールガイド」が更新されました。

STAR イシュー番号 : 21164228

Cookie の問題: HttpOnly フラグが設定されていない[161680]

症状:

攻撃者がクロス サイト スクリプティングなどのアプリケーションの不具合を発見した場合、攻撃者のシステムは Cookie を使用できます。HttpOnly 属性を設定すると、クライアント側の Javascript が Cookie を読み取ることができなくなります。

解決方法:

httpOnly フラグを Cookie に対して設定します。

STAR イシュー番号 : 21164232

SAML トークン クレームにすべてのアクティブ ディレクトリ グループが含まれない[161738]

症状:

SiteMinder から SharePoint に送信された SAML トークン クレームに、一部のユーザのすべてのアクティブ ディレクトリ グループが含まれませんでした。

解決方法:

この問題は解決されました。

STAR イシュー番号 : 21159815-1

IBM Directory Server リフェラルおよび SiteMinder

症状:

IBM Directory Server リフェラルが SiteMinder との互換性を持つかどうかについての情報がありませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。「ポリシー サーバ設定ガイド」は更新されました。

STAR イシュー番号 : 21278328-1

ポリシー ストアのインポート中にポリシー サーバのメモリ消費が増加する(167569)

症状:

キャッシュ更新と並行してポリシー ストアをインポートすると、ポリシー サーバのメモリ消費が徐々に増加する可能性があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21072845-2

管理 UI により、ブラウザがパスワード フィールドの内容を格納 およびオートコンプリートできる(161675)

症状:

管理 UI は、ユーザのブラウザがパスワード フィールドに入力された認証情報を記憶して、そのフィールドのオートコンプリートを行うことを許可しています。これは、認証情報が保存されているシステムへのアクセス権を取得した攻撃者により、保存されている認証情報がキャプチャされるセキュリティ リスクを意味しています。

解決方法:

この問題は修正されました。管理 UI は、ブラウザがパスワード フィールドの内容を保存することを許可しません。

STAR イシュー番号 : 21164211

管理 UI はクリックジャッキング攻撃に対して脆弱

症状:

管理 UI は、クリックジャッキング (または「UI 偽装攻撃」とも呼ばれる) に対して脆弱です。この攻撃では、攻撃者は複数の透明または不透明なレイヤを使用して、ユーザが管理 UI ログイン ページでクリックまたは入力しようとした際に、ユーザを騙して別のページのボタンやリンクをクリックさせたり、ログイン情報を入力させたりします。

解決方法:

この問題は修正されました。管理 UI は、非表示のフレーム内では開かず、代わりにエラー メッセージを表示します。

STAR イシュー番号 : 21164191

証明書の AKI 属性に関する問題 (CQ164030)

Windows で有効

症状:

ディレクトリ サーバ用の証明書に AKI 属性を使用すると、SSL 接続の設定に関して問題が発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。12.52 SP1 では、この問題がないアップグレードされた LDAP SDK を使用します。

STAR イシュー番号: 21125449:01

管理 UI で検索クエリを作成できない (165003)

症状:

管理 UI の式エディタが、複数の丸かっこが含まれるクエリをサポートしていません。

例:

```
(&(c3sBillableStatus=0)(|(c3sAuthorizedProductId=SciFinder)(c3sAuthorizedProductId=SCIFINDER-ACADEMIC)))
```

解決方法:

この問題は修正されました。式エディタは、複数の丸かっこが含まれるクエリをサポートしています。

STAR イシュー番号: 20993066-1

グローバル権限イベントおよび匿名認証(165663)

症状:

レムが匿名認証方式で保護されている場合、グローバル権限イベントが処理されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21203859-1

特殊文字を使用してユーザ名を作成できない

症状:

ユーザ名に以下の特殊文字が含まれる場合は、認証中にエラーが発生します。

`% + " & [¥] ^ ' { | } < > # , / ¥ r ¥ n * = .`

解決方法:

標準の英数字をユーザ名に使用します。

DoManagement コールの負荷下でのポリシー サーバの失敗 [168102/168994]

症状:

ポリシー サーバが Red Hat 5 上で失敗しました。ユーザは、その問題を引き起こしていると思われる特定のアクティビティを識別しませんでした。

解決方法:

ポリシー サーバは、この条件下で失敗しなくなりました。DoManagement コールの間を通じてポリシー サーバのプロセス ID は同じままです。

CA SiteMinder for Secure Proxy Server を使用して 管理 UI を保護するためのドキュメント(182613)

症状:

CA SiteMinder for Secure Proxy Server を使用した 管理 UI の保護に関する情報がありませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。「ポリシー サーバ設定ガイド」は更新されました。

STAR イシュー : 21688803-1

第 7 章: 12.52 で修正された問題

イベント ライブラリ ファイル ドキュメント (178452)

症状:

ポリシー サーバをモニタするためにモニタリング サービスを使用中に、イベント ライブラリ ファイル (eventsnmp.dll) の追加に関する情報は使用できません。

解決方法:

この問題は修正されました。「ポリシー サーバ管理ガイド」が更新されました。

STAR イシュー : 21567951-1

login.fcc ファイルへのアクセス時に Apache プロセスが異常終了する (177053)

症状:

不正なパスを使用して login.fcc ファイルにアクセスすると、Apache プロセスは異常終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21565391-1

[パートナーシップの作成]ドロップダウンが正しく表示されない(176737)

症状:

管理 UI で [パートナーシップの作成] ドロップダウンメニューが正しく表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21556418-1

r12 のポリシー サーバへのアップグレードに関する情報が不明確(176533)

症状:

「アップグレードガイド」には、smkeydatabase の使用中に、r12.x のポリシー サーバを 12.52 SP1 にアップグレードする方法に関する明確な手順がありません。

解決方法:

この問題は修正されました。「アップグレードガイド」の「移行に関する考慮事項」セクションが更新されました。

STAR イシュー : 21535336-1

アップグレード後に管理 UI が動作しない(176504)

症状:

管理 UI を 12.51 にアップグレードすると、管理 UI は正しく動作しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21275704-3

フェデレーション パートナーシップの操作中に、管理 UI がエラーになる(175622)

症状:

フェデレーション パートナーシップの操作中に、管理 UI で動作の遅延が発生し、AGENTAPI_FAILURE でエラーになります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21493650-1。

EPM アプリケーションで認可が失敗する(175148)

症状:

ロールが BELOW を使用し、ユーザ ディレクトリが負荷分散モードで設定されている場合、EPM アプリケーションで許可が失敗します、

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21517922-1

LDAP 表示で、管理 UI によって余分な丸かっこのペアが追加される(174905)

症状:

ユーザがドメイン ポリシーユーザを追加する際に、LDAP 表示で、管理 UI によって余分な丸かっこのペアが追加されます。

解決方法:

JavaScript コードは、現在では複雑な LDAP 式にのみに丸かっこを追加するようになりました。

STAR イシュー 21506542-1。

R12.51 cr01 では smkeytool によって 2 つのファイルはインポートされません(174693)

症状:

Smkeytool は、以下のコマンドの実行中に、エラーを生成しました。

```
smkeytool.sh -addprivkey -alias testcert -keyfile SampleAppPrivKey.key -certfile  
SampleAppCert.crt
```

このコマンドは、旧バージョンで動作しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21514671.

AD/AD LDS ユーザストア内の Latin ISO ユーザは認証を実行できない(174354/172053)

症状:

ポリシー サーバは、英語ユーザを問題なく認証しました。ただし、AD ネームスペースを持った英語以外のユーザは AD で認証されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21430448-1。

LDAP ユーザ ディレクトリ上の VLV インデックスにより SiteMinder エージェントグループの検索が失敗する(174279)

症状:

一部の LDAP ユーザ ディレクトリ上の Virtual List View (VLV) 実装の欠陥により、SiteMinder エージェントグループの検索が失敗する可能性があります。返されるエントリーはゼロで、「directory unwilling to perform」というエラーが発生します。

解決方法:

ここに記載されているような SiteMinder エージェントグループの検索の失敗が発生した場合は、ポリシー サーバ上で VLV ルックアップを無効にします。

以下の場所に、DWORD 型のレジストリ キー EnableVLV を作成します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Netegrity\Siteminder\CurrentVersion\DS\LDAPProvider  
EnableVLV
```

LDAP ディレクトリ ルックアップに対する VLV を無効または有効にします。VLV を無効にするには、EnableVLV を 0 に設定します。VLV を有効にするには、EnableVLV を 1 に設定します。

値: 0 (無効) または 1 (有効)

デフォルト: 1 (有効)

STAR イシュー番号: 20397633-1

アップグレードの結果、CPU 使用率が突然急激に上昇する (174236)

症状:

r6 から 12.51 へのアップグレードは、smpolicysrv プロセスが CPU を 100 % 使用する結果になります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21507336-1

SiteMinder Web サービスドキュメント(173173)

症状:

WSDL および WADL ファイルおよび REST URI をロードする URL は正しくありませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。「Web サービス シナリオ ガイド」が更新されました。

STAR イシュー : 21483616-1

管理 UI が正しくローカライズされていない(173072)

症状:

管理 UI をフランス語の OS にインストールし、ロケールが英語のブラウザでアクセスした場合、ログイン ページの一部がフランス語で表示されました。すべての表示が英語である必要があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21480703-01

ポリシー サーバがランダムにエラーになる(172992)

症状:

カスタマ環境で、ポリシー サーバはランダムにエラーになります。コアダンプの解析によって、エラーの原因はエラー ログの印刷中の不適切なデータ キャスティングであることが確認されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21467303-1。

shfedimport.sh 内の jar ファイルの位置が正しくない(172882)

症状:

smfedimport.sh の実行時に、`java.lang.NoClassDefFoundError` が発生しました。Java スクリプトは `/opt/software/ca/siteminder/bin/thirdparty/` にある特定の jar ファイルをコールしますが、それらのファイルは実際には `/opt/software/ca/siteminder/bin/endorsed` にあることが分かりました。

解決方法:

jar ファイルの場所は、スクリプトで修正されました。

STAR イシュー 21476994-1。

カスタム認証方式を使用するとメモリリークが発生する (172871)

症状:

カスタム認証方式を使用すると、ポリシー サーバでメモリ リークが発生する結果になります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21411442-2

認証 REST インターフェース タグにおけるエラー(172762)

症状:

認証 REST インターフェース用のログイン レスポンスの終了タグに空白スペースがありました。

解決方法:

この問題は修正されました。「ポリシー サーバ設定ガイド」は更新されました。

STAR イシュー : 21467829-1

ACO オブジェクト変更時の PS レスポンスの遅延(172272)

症状:

ユーザが ACO を変更すると、管理 UI に最後の "タスク完了" メッセージが表示される前に、7 ~ 10 分の遅延が発生しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21437423-1。

アイデンティティマッピングが機能しない(172128)

症状:

LDAP または ODBC ディレクトリとカスタム ディレクトリの間でのアイデンティティマッピングは機能しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21452663-1

Web エージェントまたは Web エージェント オプション パックの起動が失敗する(172124)

症状:

HCO にリスト表示されている最初のポリシー サーバがダウンしていると、Web エージェントまたは Web エージェント オプション パックは起動または初期化しません。HCO で定義されているポリシー サーバが複数あり、[フェールオーバー] オプションが NO で、リストの最初のポリシー サーバがダウンしていると、WA または WAOP は他の PS に接続されず、初期化されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー 21450634-1

ポリシー サーバが FIPS 専用モードで実行されている場合、テスト ツールの基本再生モードが機能しない(154109)

症状:

ポリシー サーバが FIPS 専用モードで実行されている場合、SiteMinder テスト ツールの基本再生モードは正しく機能しません。

解決方法:

この問題は修正されました。テスト ツールは修正されました。「ポリシー サーバ設定ガイド」の「SiteMinder テスト ツール」の章に、「FIPS 専用モードにおけるテスト ツールの使用方法」というトピックが新規に追加されました。

STAR イシュー : 20890864-1

アクティブな式の処理エラー

症状:

Web サービス変数を取得するときに SiteMinder がエラーをスローしていました。smtracedefault.log に、「Failed with error 'SmJavaAPI: Expression evaluation returned a null.」というエラーが記録されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21392046

SAML SP オブジェクト内のユーザ編集時の例外

症状:

SAML サービス プロバイダ オブジェクト内の既存ユーザ エントリを編集しようとした場合、管理 UI で例外が発生します。この例外は、ポリシー ストアを V6 からインポートした後に発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21399289-1

管理 UI コンソールにセクション全体がない

症状:

管理 UI コンソールに、カスタム ディレクトリ セットアップ用の「ユーザ 属性」セクション全体がありませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21406240-1

インポート中のリモート IdP からリモート SP へのエンティティタイプの変更(170262)

症状:

複数のエンティティがあるメタデータをインポートする場合、選択されたエンティティではなく、リストの最初のエンティティがインポートされます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21386774-1

管理 UI の認証許可 Web サービス デフォルト設定テンプレートがありません

症状:

この Web サービス用のドキュメントは、新しい ACO を作成するために AuthAzServiceDefaultSettings テンプレート ito を参照していましたが、これはまだ存在していませんでした。

解決方法:

テンプレートが使用可能になりました。ドキュメントはテンプレートに一致するために修正されました。

STAR イシュー番号 : 21388970-1

ポリシー サーバでログがロールオーバーされない(170020)

症状:

ログを自動的にロールオーバーできませんでした。そのため、ポリシーサーバが動作不能になりました。プロセスはクラッシュしませんでした。ログファイルのサイズが 2 GB に達すると正しく動作できなくなりました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21349366-1

不正な検索フィルタ エラー(169127)

症状:

XPSimport を使用してポリシー サーバをインポートする場合、不正な検索フィルタ エラーが表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21329382-1

ポリシー内の SQL エントリを編集できない

症状:

[ユーザ ポリシー] タブには、SQL ODBC ユーザのユーザ ポリシー オブジェクトがリスト表示されます。変更モードで編集アイコンをクリックしても、編集できませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号 : 21148478-3

「Web エージェント設定ガイド」の ACO パラメータのデフォルト値が不明瞭(155294)

症状:

「Web エージェント設定ガイド」で、BadFormChars、BadCssChars、BadUrlChars ACOare パラメータのデフォルト値が不明瞭です。

解決方法:

この問題は修正されました。「Web エージェント設定ガイド」は更新されました。

STAR イシュー : 20933042-1

「SiteMinder Agent for JBoss Guide」で、UNIX 環境設定用に不正なディレクトリが指定されている (165866)

症状:

「SiteMinder Agent for JBoss Guide」のトピック「Set the JBoss Environment on UNIX」に、「JBOSS_CLASSPATH エントリはセミコロン (;) で区切る必要があります。」という旨の間違った記述があります。

解決方法:

この問題は修正されました。このガイドは更新され、JBOSS_CLASSPATH エントリの区切りにコロン (:) を使用するように記述が変更されました。

STAR イシュー : 21264939-01

「ポリシー サーバ インストール ガイド」の必須 Linux ライブラリのリストが不完全 (169240、169427)

症状:

「ポリシー サーバ インストール ガイド」のトピック「必要な Linux ライブラリ」に必要なライブラリがすべては含まれていません。

解決方法:

この問題は修正されました。このガイドは更新されました。

STAR イシュー : 21343328-04

「ポリシー サーバ設定ガイド」に、インパーソネーション方式の前提条件に関する間違った情報が含まれている (PROD00172378)

症状:

「ポリシー サーバ設定ガイド」の第 9 章にあるトピック「インパーソネーション方式の前提条件」に、`smauthimpersonate.dll` (Windows) および `smauthimpersonate` (UNIX) が Web エージェントにインストールされるという間違った記述があります。これらのファイルは、実際にはポリシーサーバにインストールされます。

解決方法:

この問題は修正されました。このガイドは更新されました。

STAR イシュー : 21467135-1

「ポリシー サーバ インストール ガイド」の 管理 UI Linux 前提条件情報は統合が必要 (171403)

症状:

異なる 管理 UI Linux 要件が、「ポリシー サーバ設定ガイド」の 2 つの章に含まれています。

解決方法:

この問題は修正されました。Linux 要件は統合されました。

STAR イシュー : 21436925-1

「ポリシー サーバ管理ガイド」で、監査データ ODBC データベースのバルクロードに関する追加情報が必要(159529)

症状:

「ポリシー サーバ管理ガイド」で、-b オプションを使用した監査データの Oracle データベースへのインポート時に、[ODBC Oracle Wire Protocol Driver Setup] ダイアログ ボックスの [Enable bulk load] オプションを設定する必要があるという旨の記述にする必要があります。

解決方法:

この問題は修正されました。このガイドは更新されました。

STAR イシュー : 21045785

OpenID 認証プラグインの追加

症状:

OpenID 認証方式は、認証を実行している Web サーバ用の新しいプラグインを必要とします。

解決方法:

プラグインは SiteMinder へ組み込まれました。

STAR イシュー番号 : 20777360-1

第 8 章: 12.52 SP1 で修正された問題

ポリシー サーバはアクティブな式を処理する間に例外を表示します (63871)

症状:

ポリシー サーバはアクティブな式を処理する間に以下の例外を表示します。

```
java.util.MissingResourceException
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21778610-01

ポリシー サーバが監査データベースへの再接続に失敗します (63635)

症状:

ポリシー サーバが監査データベースに接続し、ロード バランサが非アクティブ状態のために接続をドロップする場合、ポリシー サーバは接続を復旧できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21763138-01

OverlookSessionForMethodUri の例が正しくありません(55896)

症状:

OverlookSessionForMethodUri の例に余分なスペースが含まれます。

解決方法:

ドキュメントが更新され、例から余分なスペースを削除します。

STAR : 21747796-01

ブラウザに HTTP 500 エラーが表示されます(55837)

症状:

SAML 2.0 認証方式によって保護されるレルムにリダイレクトされる場合、ブラウザに HTTP 500 エラーが表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR : 21745941-01

並行環境設定時のインデックス管理についての情報が見つかりません(55685)

症状:

ドキュメントに、並列環境設定時に r6.x ポリシーを移行する場合のインデックスの管理方法が記載されていません。

解決方法:

ドキュメントが更新されます。

STAR : 21697346-01

コンソールモードでの高度な認証設定方式が見つかりません (55674)

症状:

ポリシー サーバインストール コンテンツに、コンソールモードインストール時の高度な認証設定が記載されていません。

解決方法:

ドキュメントは必要な情報で更新されます。

STAR : 21708422-01

アイドルタイムアウト後のリソースへのアクセス エラー (55576)

症状:

リソースがアイドルタイムアウトの後にアクセスされる場合、ポリシーサーバは 107 のエラーをレポートします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21715653-1

ポリシーサーバがシャットダウン中に突然終了します(55570)

症状:

ポリシーサーバがシャットダウン中に突然に終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21553554-1

暗号化キーの非互換性(55463)

症状:

EncryptionKey.txt ファイル内の暗号化キーに NULL 文字が含まれる場合、r6.0、r12.0 SP3 および r12.5 からのファイルは r12.51 CR01 と互換性がありません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21647033-01

smaphistory が「忘れたパスワード サービス」中に更新されません(55422)

症状:

パスワード履歴属性 (smaphistory) は、「忘れたパスワード サービス」ではなく「パスワード変更」サービス中にのみ更新されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21660317-1

ポリシー サーバ サービスが異常終了します(55358)

症状:

ポリシー サーバ サービス (SmPolicySrv) のシャットダウン中に、smpolicysrv.exe が異常終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21513737-1

XPSSweeper がコアを生成します (55357)

症状:

XPSSweeper が、Solaris 10 にコアを生成します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21626430-01

[ネストされたグループの許可]オプションが表示されません (55353)

症状:

AD ネームスペースがユーザ ディレクトリに使用される場合、管理 UI は [ネストされたグループの許可] オプションを表示しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR : 21730158-1

smpolicy.xml のインポートが失敗します (55352)

症状:

ポリシー サーバは、以下のエラーのある smpolicy.xml ファイルのインポートに失敗します。

(エラー) : [CA-SM-Assert] Assert に失敗しました : 文字列 && *文字列

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR : 21602440-01

ポリシー サーバが突然終了します(55316)

症状:

証明書認証方式が使用される場合、ポリシー サーバはバッファ オーバーフローのために突然終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21595114-1

認証および認証オプションが無効になっています(54947)

症状:

認証および認証オプションはアプリケーション コンポーネント設定中に選択内容に対して無効にされます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR : 21615280-01 と 21617878-02

SP による SLO リクエストの開始時に例外が発生します(54466)

症状:

SP が IDP 内の SLO リクエストを SP パートナーシップに対して開始する場合、以下の例外が IDP でスローされます。

```
java.lang.IndexOutOfBoundsException
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR : 21565949-1

WS-フェデレーション レスポンスに不適切な時間形式がありません (54455)

症状:

WS-フェデレーション レスポンスのライフタイム タグ内の以下のタグは、UTC 時間形式ではなくサーバ ロケールの時間形式を使用します。

- 作成日
- Expires

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21566713-01

アクセス ログがリアルタイムに更新されません (54427)

症状:

監査データが保存される場合、ディスクに書き込まれたアクセス ログはリアルタイムではなく 3 秒間隔で保存されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR : 21579771-1

パスワード変更時に不適切なエラー メッセージが表示されません (54263)

症状:

ポリシー サーバが APS を実行している場合にパスワードを変更しようとすると、不適切なエラー メッセージが表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。 エラー メッセージが訂正されました。

STAR イシュー番号 : 21545451-01、21507336-02

ポリシー サーバがコア ダンプで突然終了します(54203)

症状:

ポリシー サーバが、CRefCounter::Release および delete() 機能を指すコールスタックで突然終了します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21412563-1

ポリシー ユーザのパスを設定できません(53882)

症状:

適切なメソッドで Perl CLI API を使用したドメインのポリシー ユーザ用のパスを設定できません。

解決方法:

この問題は修正されました。新しい Perl CLI API SetPath メソッドがドメインのポリシー ユーザにパスを設定するために追加されました。

STAR イシュー番号 : 21463269

アサーション署名スレッド内のスパイク(52996)

症状:

アサーション署名スレッドのスパイクにより、すべてのスレッドが同じトレース行の状態でハングします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21176050-1

現在アクティブなスレッドの数が正しくありません(52932)

症状:

現在アクティブなスレッドの数が間違っってレポートされます。

解決方法:

この問題は、新しいカウンタ (`busythreads`) が追加されて修正されました。

STAR イシュー : 21511984-1

AD をユーザストアとして有効化する手順に関するドキュメント更新[181087]

症状:

「ポリシー サーバインストールガイド」の AD をユーザストアとして有効化する手順についてのセクションは、更新する必要がありました。

解決方法:

セクションは、以前「技術情報 (81220)」として発行されたシナリオを使用して更新されました。

STAR イシュー : 21656814-1

ドキュメントの誤り: [認証方式グループ]の UI[181220]

症状:

「パートナーシップ フェデレーション」 > 「ソーシャル サインオンの設定」 > 「認証方式グループの作成」に記載されている

1. [フェデレーション] - [認証方式グループ] に移動します。

の正しい記述は、次のとおりです。

1. [インフラストラクチャ] - [認証] - [認証方式グループ] に移動します。

解決方法:

この誤りは修正されました。

STAR イシュー : 21657962-1

ドキュメントの誤り: SecureID HTML フォームのディレクトリの内容一覧(184814)

症状:

sdconf.rec ファイルの場所が誤って /siteminder/lib と記載されていました。正しい場所は /siteminder/bin です。

解決方法:

この誤りは修正されました。

STAR イシュー : 21771520-1

Red Hat 上での SM パフォーマンスに関するドキュメント更新 [181331]

症状:

「ポリシー サーバインストールガイド」では、シンボリック リンクを設定して Red Hat 6 上でエントロピーを増加させることを推奨していました。しかし、この設定を作成しないとランタイム中のリクエストへのレスポンス タイムに重大な影響が生じることを明確にしていませんでした。

解決方法:

このトピックは更新されました。

STAR イシュー : 21661628-1

ドキュメントの誤り: 変数のタイプミスが未解決[181424]

症状:

「レガシー フェデレーション」 > 「Configure SM as SAML 2.0 IdP」 > 「Indicate SSO from IdP or SP」 > 「SiteMinder IdP によるクエリ パラメータの処理」で

タイプミスされた Author-It 変数 <stnmdr> が解決していませんでした。

解決方法:

変数は SiteMinder に変更されました。

STAR イシューはありません。

ドキュメントの誤り: ODBC データベース概要 [181891]

症状:

「ポリシー サーバ設定ガイド」の「ODBC データベースの概要」に関するトピックで、ODBC の代わりに OCI を使用してユーザディレクトリに接続する場合に関する注記に誤りがありました。

解決方法:

この注記が削除されました。

STAR イシュー: 21697349-1

管理 UI のバージョンがポリシー サーバのバージョンと一致しない [183994]

症状:

インストーラを解凍した後に以下のコンポーネントが表示されていました。

1. Siteminder ポリシー サーバ R12.52-CR01
2. Siteminder WAM UI インストーラおよび必須インストーラ - R12.52

ポリシー サーバおよび WAM UI をインストールし、WAM UI をポリシー サーバに登録すると、以下のエラーが表示されていました。

+++++

SiteMinder 管理 UI (バージョン 12.52.0000.142) はポリシー サーバ (バージョン 12.52.0001.154) と一致しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー: 21748545-1、21747060-1、および 21742480-1

フェールオーバー中にポリシー サーバがコア ダンプを作成する (183017)

症状:

負荷分散するように設定された 2 つのポリシー ストアがあります (sat1svdap001 および sat1svdap003)。sat1svdap001 が停止した場合、ポリシー サーバはクラッシュしてコア ダンプを作成し、再起動して sat1svdap003 に接続します。逆の場合は問題なく動作します。sat1svdap003 が停止した場合、sat1svdap001 へのフェールオーバーはエラーなしで続行されます。

症状:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21723358-01

XPSSweeper エラー -181643

解決方法:

フェデレーション パートナーシップを設定した後に XPSSweeper コマンドを実行すると、ユーザ ポリシーおよびフェデレーション ユーザに関連するいくつかのエラーが発生します。

症状:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21694002;01 および 21734080;01

レルム関連付けの説明が空白 (181488)

症状：

管理 UI の [インフラストラクチャ]、[エージェント]、[エージェントの変更] の各ダイアログ ボックスには、関連する値（存在する場合）の複数のボックスがあります。実際に値が存在する場合に（たとえば、[レルム関連付け]、[エージェントグループ関連付け] など）、レルム関連付けの説明が空白になっていました（各レルムの説明が存在する場合であっても）。

解決方法：

この問題は修正されました。

STAR イシュー： 21649590-01

管理 UI の失敗: java.lang.StackOverflowError [179026]

症状：

管理 UI では、管理者が 1 つのドメインで複数のレルムを作成しようとすると、`java.lang.StackOverflowError` で失敗します。

解決方法：

この問題は修正されました。

STAR イシュー： 21607852-1

RADIUS 認証レスポンスの無効な値 [178573]

症状:

RADIUS レスポンスで、IP アドレスの無効な値が返されていました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21579100-1

SMACCESS.log ファイルの文字数制限 [177754]

症状:

監査エントリが 1024 文字を超えている場合、1024 文字を超えた部分の文字が削除されます。 <CR><LF> はありません。その結果、後続のレコードは、改行されることなく、前の行の末尾に連結されます。この問題は、1 行が 1024 文字を超えている場合に発生するように見えます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21557894;2

ドメイン ポリシー設定におけるエラー[177554]

症状:

ポリシーで値を更新するとき、以下の問題が発生しました。

- 演算子 "=" の後に日本語で書かれた注記が値として認識される。
- ポリシー文で設定された値が正しく反映されていない。
- [Infix] フィールドで編集されたポリシー文の後に、余分な変数名 "suzuki01)" が続く。
- 正しくない文でも [サブミット] をクリックすれば保存できる。

解決方法:

これらの問題は修正されました。

STAR イシュー : 21527707-1

カスタム認証スキームでパスワード サービスがトリガされない [177537]

症状:

カスタム認証スキームでは、パスワードポリシーがトリガされませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21575910-1

ポリシー サーバ再起動後にユーザが管理 UI 内の証明書を表示できない[175381]

症状:

ユーザは、以下のシナリオにおいて、証明書データストアにインポートされた証明書を表示できません。

1. サーバ A が WAM UI (埋め込み JBOSS) をホストする。
2. サーバ B がポリシー サーバをホストする。
3. WAMUI (サーバ A) がサーバ B と接続する。
4. ポリシー サーバ (B) を再起動する。
5. WAMUI にログインし、 [インフラストラクチャ] - [X509 証明書管理] - [信頼された証明書および秘密キー] に移動する。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21527502-1

データベース タイプを選択するメニューが smjdbcsetup.sh コマンドで表示されない[173755]

症状:

データベース タイプを選択するメニュー (SQL または Oracle) が smjdbcsetup.sh コマンドで表示されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21498329-01

認証/許可のリクエストが SmTest の[高度な再生]で失敗する [172968]

症状:

SmTest ツールを使用してストレスまたはロード テストを実行している間、認証および許可のリクエストが失敗していました。

症状:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21472318-1

AD ネームスペースのネストグループ[171652]

症状:

ネストグループオプションは、LDAP ネームスペースでは使用できましたが、AD ネームスペースでは使用できませんでした。

解決方法:

このオプションが追加されました。

STAR イシュー : 21439371-1

ログの SmdsLdapConnMgr Bind-Init エラー[169288]

症状:

このエラーによってログがすぐにいっぱいになると、ユーザから報告がありました。その他は特に問題なく機能しているとのことでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21349301;1 および 21277788;1

ドキュメント更新: セッション保証の手順の修正[181072]

症状:

「ポリシー サーバガイド」 > 「ポリシー サーバ設定ガイド」 > 「DeviceDNA™ による拡張セッション保証」 > 「DeviceDNA™ による拡張セッション保証を設定する方法」でリストされた手順が若干変更されました。

解決方法:

更新されました。

STAR イシュー : 21657937;1

管理 UI の検索の失敗(179822)

症状:

管理 UI の [管理]、[管理 UI]、[管理認証の設定]、[スーパーユーザの選択] において、特定のユーザ ID (sAMAccountName) を検索できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21624479-1

管理 UI JDK バージョンの更新が必要[179817]

症状:

ユーザの監査ポリシーは、セキュリティの脆弱性がないバージョンの製品であることを必須とする厳しいものです。このポリシーに適合しない製品は、最悪の場合、監査チームによって強制的に環境から削除される可能性があります。

管理 UI では 2011 年のバージョンの Java が使用されていました。ユーザからは、各 CR を最新バージョンの JDK で更新するよう要求がありました。

解決方法:

JDK がアップグレードされました。

STAR イシュー : 21624938-1

XPSImport -validateOnly による SMRegistry の上書き[179084]

症状:

-xb スイッチで生成されたエクスポート ファイルの XPSImport -validateOnly を実行すると、検証が実行されるポリシー サーバのレジストリが上書きされます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21555333;1

ポリシー サーバ再起動後の 管理 UI で発生する NULL ポインタ例外 [175478]

症状:

ユーザが 管理 UI でアプリケーションオブジェクトを作成し、アプリケーションオブジェクトの変更後にポリシー サーバを再起動した場合、ユーザがアプリケーションにアクセスしようとする、オブジェクトの NULL ポインタ例外が表示されました。この場合、各 NULL ポインタ例外について、管理 UI を再起動する必要がありました。

解決方法:

CQ 173019 によって間接的に修正されました。

STAR イシュー : 21498068-1

ポリシー ストアのディレクトリ サーバがダウンしている場合、ポリシー サーバが反応しない [174218]

症状:

ユーザが (SMCONSOLE で) ポリシー ストアとして 2 つのディレクトリ サーバをフェールオーバーモードで設定していた場合、リスト内の 2 番目のディレクトリ サーバがダウンしているときに、ポリシー ストアに接続しようすると、ポリシー サーバが反応しなくなります。この失敗は、最初のディレクトリ サーバ ポリシー ストアが稼働中の場合でも発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21477725-6

エージェント インスタンスにおけるサブタイプによる並べ替えの失敗[173590]

症状:

サブタイプで並べ替えると、正しく並べ替えられませんでした。トラステッドホスト名で並べ替えると、`a.NullPointerException` メッセージが生成されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21497268;1

認証コンテキスト テンプレートが 管理 UI で表示されない [173304]

症状:

認証コンテキスト テンプレートが、[SSO と SLO] タブの IdP から SP へのパートナーシップのドロップダウン リストに表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21493257-1

管理 UI でのパスワード ポリシーによる制限[173210]

症状:

ドキュメントには、ユーザが指定するパスワードは、どんなパスワード ポリシーによっても制限されないと記述されています。パスワードはユーザのパスワード履歴に記録されます。しかし、管理 UI からパスワードを変更することは、パスワード ポリシーによって制限されています。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21487255-1

管理 UI で SSL の選択内容をクリアできない[171975]

症状:

再現手順:

- 1) WAMUI にログインします。
- 2) ポリシーをクリックします。
- 3) 任意のドメインを編集します。 --> [変数] をクリックします。 --> [Create new Variable] をクリックします。 --> ドロップダウンから変数のタイプとして [Web サービス] を選択します。
- 4) 必要な詳細をすべて提供し、SSL をチェックします。
- 5) [サブミット] をクリックします。タスクが完了したら、再度 [編集] をクリックします。
- 6) SSL の選択内容をクリアできません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21453762-1

(一般)SET 関数の式を作成するときエラー「特権式 "{0}" への参照です」が表示される[171974]

症状:

SET 関数の式の定義により、ユーザディレクトリで属性を作成する機能が指定されます。属性マッピングリストを作成するとき、この機能は表示されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21450779-1

SMPS ログにおける LDAP バインド エラー[170511]

症状:

ユーザ ディレクトリ ページで [内容の表示] をクリックすると、SMDSLDAPCONNMGR BIND エラー メッセージが表示されていました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21395598-1

ドメイン、レルム、ルール、およびレスポンスで検索すると、[説明]オプションが表示されない[166526]

症状:

この検索は予期したように動作していませんでした。

- 1) [ポリシー] をクリックします。
- 2) [ドメイン] をクリックします。
- 3) 左の列のドメインをクリックします。

[タイプ「ドメイン」のオブジェクトの検索] 画面が表示されます。

- 4) [名前] および [説明] オプションが表示されるはずのドロップダウンをクリックします。 [名前] オプションのみが表示されています。
- 5) レルム、ルール、レスポンスについて、上記の手順を繰り返します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21284496;2

2 番目のコンポーネントをアプリケーションに追加すると、イベント処理で問題が発生する(166376)

症状:

2 番目のコンポーネントをアプリケーションに追加すると、[認証イベントの処理] および [許可イベントの処理] がクリアされました。または、すべてのコンポーネントが削除されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー : 21276259;1

FIPS 環境変数作成の自動化[179935]

解決方法:

FIPS 環境変数を 管理 UI 登録時に手動で設定するのではなく、自動で設定されるようにして欲しいという要求がユーザから出されていました。

症状:

この拡張機能が追加されました。

STAR イシュー : 21631917;1

第 9 章: ドキュメント

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) (P. 141)

[既知の問題](#) (P. 142)

[マニュアルのリリース番号](#) (P. 142)

[コマンドラインスクリプト \(CLI\) のドキュメント](#) (P. 143)

SiteMinder マニュアル選択メニュー

SiteMinder に関する詳細情報は [SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) から参照できます。[SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) を使用すると、以下のことを実行できます。

- 1 つのコンソールを使用して [SiteMinder](#) について公開されているすべてのドキュメントを表示する。
- アルファベット順の索引を使用して、すべてのドキュメントのトピックを検索する。
- すべてのドキュメントで 1 つ以上の単語を検索する。

[CA テクニカル サポート サイト](#) から [SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) を表示してダウンロードします。マニュアル選択メニューにアクセスするためにサイトにログインする必要はありません。

ドキュメントをダウンロードする予定である場合は、インストールを開始する前にダウンロードすることをお勧めします。

既知の問題

以下の SiteMinder コンポーネントの既知の問題は機密情報であり、「リリースノート」に含まれなくなりました。

- ポリシー サーバ
- Web エージェント
- SDK
- フェデレーション
- Web サービス セキュリティ
- CA SiteMinder® SPS

既知の問題を表示するには、以下の手順に従います。

1. マニュアル選択メニューのメイン ページで [リリース ノート] をクリックします。
2. [既知の問題] の [制限されたコンテンツ] をクリックし、CA Support Online にログインします。

マニュアルのリリース番号

マニュアルの表紙に記載されているリリース番号は、必ずしも現在の製品リリース番号に対応するとは限りません。しかし、製品と併せて提供されるすべてのドキュメントは、表紙に記載されているリリース番号に関係なく、その製品リリースをサポートします。

リリース番号は、新規または更新された製品のリリースをサポートするためにマニュアルが大幅に変更される場合のみ変更されます。マニュアルに実質的な変更が加えられていない場合、リリース番号は変わりません。たとえば、r12 用のマニュアルは、r12 SP1 でも有効です。マニュアルのブックシェルフは常に現在の製品リリース番号を反映しています。

場合によっては、新規または更新のリリース以外でマニュアルが更新されることもあります。サポートするすべてのリリースでマニュアルの記述が無効にならないよう、わずかな変更が施されたことを示すために、カバー ページの版番号が更新されます。最初のエディションには、エディション番号はありません。

コマンドラインスクリプト(CLI)のドキュメント

Perl CLI API のガイダンスおよび参照情報は「Perl Programming Guide」に統合されました。このドキュメントは SiteMinder マニュアル選択メニューから参照可能です。CLI 参照の Perl POD 形式はサポートされなくなりました。

第 10 章: プラットフォーム サポートおよびインストール メディア

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス](#) (P. 145)

[マニュアル選択メニューの使用](#) (P. 146)

[インストールメディアの検索](#) (P. 146)

プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス

プラットフォーム サポート マトリックスを使用して、オペレーティング環境および他の必要なサードパーティ コンポーネントがサポートされていることを確認します。

次の手順に従ってください:

1. CA サポート サイトに移動します。
2. [Product Pages] をクリックします。
3. 製品名を入力し、Enter キーを押します。
4. ポピュラーなリンクを開き、[Informational Documentation Index] をクリックします。
5. [Platform Support Matrices] をクリックします。

注: 最新の JDK および JRE バージョンは、[Oracle Developer Network](#) でダウンロードできます。

技術パートナーおよび CA によって検証済みの製品

パートナーおよびパートナーによって検証済み製品の最新[リスト](#)

マニュアル選択メニューの使用

SiteMinder マニュアル選択メニューはテクニカル サポート サイトで提供されています。

次の手順に従ってください:

1. [テクニカル サポート サイト](#)に移動します。
注: ログインする必要はありません。
2. (任意) [Get Support] タブが前面にない場合は、[Get Support] をクリックします。
3. [Find Product News and Support] の下で [Product Pages] をクリックします。
[Support by Product] ページが表示されます。
4. [Select a Product Page] フィールドに「SiteMinder」と入力し、Enter キーを押します。
SiteMinder 製品ページが表示されます。
5. マニュアル選択メニューをクリックします。
6. 必要なリリースのリンクをクリックします。
SiteMinder マニュアル選択メニューのメイン ページが表示されます。

インストール メディアの検索

ベース リリースが必要な場合は、以下の手順に従います。

1. CA サポート サイトに移動し、[Product Pages] をクリックします。
2. 製品名を入力し、Enter キーを押します。
3. [Quick Access] を開き、[Download Center] をクリックします。
4. ログインします。
5. [Select a Product] リストで製品を探します。
6. リリースと gen レベルを選択します。 [Go] をクリックします。
7. インストール zip をローカルに保存し、一時的な保存場所にキットを解凍します。

累積リリース(cr)が必要な場合は、以下の手順に従います。

1. CA サポート サイトに移動し、[Product Pages] をクリックします。
2. 製品名を入力し、Enter キーを押します。
3. [Quick Access] を開き、[Hotfix/Cumulative Release Index] をクリックします。
4. ログインします。
5. 必要なリリースをクリックします。
6. インストール zip をローカルに保存し、一時的な保存場所にキットを解凍します。

付録 A: サードパーティソフトウェアの使用許諾契約書

SiteMinder には、サードパーティ社製のソフトウェアが組み込まれています。サードパーティソフトウェアの使用許諾契約書の詳細については、SiteMinder マニュアル選択メニューのメインページを参照してください。

付録 B: アクセシビリティ機能

CA Technologies では、さまざまな利用環境のすべてのお客様が、当社の製品およびサポート ドキュメントを正しく使用して重要なビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。このセクションでは、CA SiteMinder に含まれているアクセシビリティ機能について説明します。

製品拡張機能

SiteMinder では、以下の領域でアクセシビリティが機能拡張されています。

- 表示
- 音
- キーボード
- マウス

注: 以下の情報は Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホスト オペレーティング システムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジーがあります。これらの既存の支援テクノロジーで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジー自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブプラットフォームであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Sun では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

表示

コンピュータディスプレイでの可視性を向上させるために、以下のオプションを調整できます。

アイテムのフォントスタイル、色、およびサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅と点滅の速さ

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

ハイコントラストスキーム

見やすい色の組み合わせを選択できます。

音

視覚に代わるものとして音を使用します。以下のオプションを調整してコンピュータの音を聞き取りやすくするか、または聞き分けやすくします。

音量

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声合成

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

警告

目に見える警告を表示できます。

通知

アクセシビリティ機能がオンまたはオフになったときに、聴覚的または視覚的な合図を出します。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

キーボード

以下のキーボード調整を行うことができます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

固定キー機能

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

マウス

マウスをより速く、より使いやすくするために以下のオプションを使用できます。

クリックの速度

選択するときのマウス ボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウス ボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

リーバス アクション

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅の速さ

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタ オプション

以下の操作を実行できます。

- タイプ入力中にポインタの表示を非表示にする
- ポインタの場所を表示する
- 画面でポインタが移動する速度を設定する
- 可視性を高めるためにポインタのサイズおよび色を選択する
- ダイアログ ボックス内でデフォルトの場所へポインタを移動する

キーボード ショートカット

以下の表に、CA SiteMinder でサポートされているキーボード ショートカットを示します。

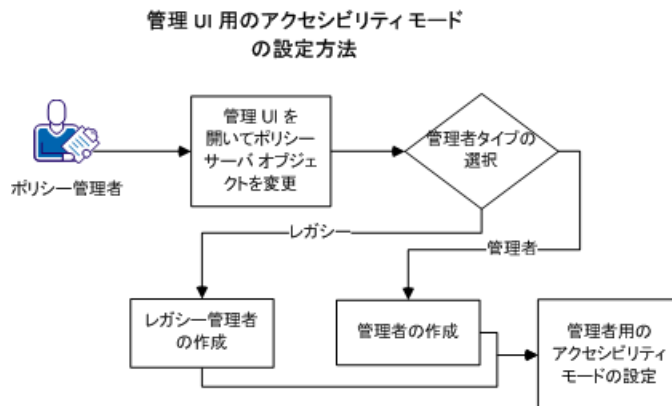
キーボード	説明
Ctrl + X	切り取り
Ctrl + C	コピー
Ctrl + K	次を検索
Ctrl + F	検索置換
Ctrl + V	貼り付け

キーボード	説明
Ctrl + S	保存
Ctrl + Shift + S	すべて保存
Ctrl + D キー	行の削除
Ctrl + 右方向キー	次の語句
Ctrl + 下方向キー	下にスクロール
End キー	行の終わり

管理 UI 用のアクセシビリティモードを設定する方法

本製品では、アクセシビリティを設定できます。

以下の図は、管理 UI 用のアクセシビリティモードを設定する方法を示しています。



次の手順に従ってください：

1. [管理 UI を開いてポリシー サーバオブジェクトを変更します](#) (P. 156)。
2. (以下のリストから) [管理者タイプを選択します](#) (P. 157)。
 - [管理者を作成します](#) (P. 157)。
 - [レガシー管理者を作成します](#) (P. 158)。
3. [管理者用のアクセシビリティモードを設定します](#) (P. 159)。

ポリシー サーバ オブジェクトの変更

管理 UI を開いて、ポリシー サーバ上のオブジェクトを変更します。

次の手順に従ってください:

1. ブラウザで以下の URL を入力します。

`https://host_name:8443/iam/siteminder/adminui`

`host_name`

管理 UI ホスト システムの完全修飾名を指定します。

2. [ユーザ名] フィールドに **SiteMinder** スーパーユーザ名を入力します。
3. [パスワード] フィールドに **SiteMinder** スーパーユーザ アカウントのパスワードを入力します。

注: スーパーユーザ アカウントのパスワードにドル記号 (\$) 文字が含まれている場合は、ドル記号文字の各インスタンスを **\$DOLLAR\$** に置換します。たとえば、**SiteMinder** スーパーユーザ アカウント パスワードが **\$password** の場合は、パスワード フィールドに「**\$DOLLAR\$password**」と入力します。

4. 適切なサーバ名または IP アドレスが [サーバ] ドロップダウン リストに表示されていることを確認します。
5. [ログイン] を選択します。

管理者タイプの選択

使用可能な管理者のタイプは、以下のとおりです。

- この製品以外の外部のサードパーティデータベースに格納されているアカウントおよび認証情報を持っている管理者。
- ポリシーストア内部に格納されているアカウントおよび認証情報を持っているレガシー管理者。

任意のタイプの管理者をアクセシビリティモードを使用するように設定できます。ただし、管理者を作成するには、外部データベースをまず設定する必要があります。

アクセシビリティモードを設定する管理者タイプを以下のいずれかから選択します。

- [管理者](#) (P. 157)
- [レガシー管理者](#) (P. 158)

管理者の作成

管理 UI でレガシー管理者を作成します。このレガシー管理者は、本製品のアクセシビリティモードを使用します。

次の手順に従ってください:

1. [管理] - [管理者] を選択します。
2. 「管理者」を選択します。
3. [管理者の作成] を選択します。
4. [一般] の下の [検索] を選択します。
5. 検索条件を指定し、[検索] を選択します。
6. 目的の管理者を選択し、[選択] を選択します。
7. [サブミット] を選択します。
8. [この管理者用のアクセシビリティモードを設定します](#) (P. 159)。

レガシー管理者の作成

管理 UI でレガシー管理者を作成します。このレガシー管理者は、本製品のアクセシビリティ モードを使用します。

次の手順に従ってください:

1. 管理 UI から、[管理] - [管理者] - [レガシー管理者] を選択します。
2. [レガシー管理者の作成] を選択します。
3. 以下のオプション ボタンが選択されていることを確認します。
レガシー管理者タイプの新規オブジェクトの作成
4. [OK] を選択します。
5. [名前] フィールドを選択し、レガシー管理者のユーザ名を入力します。
6. 以下のオプション ボタンが選択されていることを確認します。
SiteMinder データベース
7. [パスワード] フィールドを選択し、レガシー管理者のパスワードを入力します。
8. [パスワードの確認入力] を選択し、手順 7 で使用したのと同じパスワードを入力します。
9. 以下のオプション ボタンを選択します。
システム
10. [サブミット] を選択します。
11. この管理者用のアクセシビリティ モードを設定します。

管理者用のアクセシビリティモードの設定

管理者を作成した後、管理者用のアクセシビリティモードを設定します。

次の手順に従ってください：

1. 管理 UI から、[管理] - [管理者] - [管理者] を選択します。
2. アクセシビリティモードを設定するレガシー管理者の右側にある [編集] アイコンを選択します。
3. 以下のチェックボックスをオンにします。
GUI を許可
4. [追加] を選択します。
5. 以下の手順に従い、アクセシビリティモードを設定します。
 - a. [権限の作成] 画面で、以下の表の「セキュリティカテゴリ」列に表示されている項目のチェックボックスをオンにします。
 - b. 「セキュリティカテゴリ」列に対応するチェックボックスをすべてオンにして、[OK] を選択します。
 - c. 以下の表に示すように、権限の列 (V、M、および X) のチェックボックスをオンにします。
6. [サブミット] を選択します。

アクセシビリティモードが設定されて、確認メッセージが表示されます。アクセシビリティモードを必要とする管理者は、管理 UI にアクセスするためにこの管理者アカウントを使用できます。

セキュリティカテゴリ	V	M	X	B	R	P
保守管理	X	X				
エージェント管理	X	X				
エージェントタイプ管理	X	X				
アプリケーション管理	X	X				
アプリケーションロール管理	X	X				
認証管理	X	X				
ディレクトリ管理	X	X				
ドメイン管理	X	X				

管理 UI 用のアクセシビリティモードを設定する方法

セキュリティカテゴリ	V	M	X	B	R	P
式管理	X	X				
グローバルポリシー管理	X	X				
ホスト管理	X	X				
レガシードメイン管理	X	X				
マッピング管理	X	X				
パスワードポリシー管理	X	X				
ポリシー管理	X	X				
レポート： ユーザ別アクティビティ			X			
レポート： 管理操作			X			
レポート： アプリケーション			X			
レポート： ユーザ別アプリケーション			X			
レポート： 拒否された許可			X			
レポート： 拒否されたリソース			X			
レポート： ロール別ポリシー			X			
レポート： 保護されたリソース			X			
レポート： リソース アクティビティ			X			
レポート： ユーザ別リソース			X			
レポート： アプリケーション別ロール			X			
レポート： リソース別ロール			X			
レポート： リソース別ユーザ			X			
レポート： ロール別ユーザ			X			
ユーザ管理	X	X				
変数管理	X	X				